

R-bec

Working Paper No.14

ハラルに関する先行研究の整理

ーハラルサプライチェーンマネジメント研究の位置づけと現状ー

麗澤大学大学院経済研究科 博士課程

藤原 達也

平成27年7月13日

発行者:麗澤大学企業倫理研究センター

ハラールに関する先行研究の整理
—ハラールサプライチェーンマネジメント研究の位置づけと現状—

藤原 達也

麗澤大学大学院経済研究科 博士課程

Positioning of Halal Supply-Chain Management Research: A Review of Halal Literature

Abstract

This study aims at positioning halal supply-chain management research in the broader field of halal study as a whole and reviewing this literature by classifying and analyzing previous research concerning halal issues. Nowadays, the pressing issue that needs to be addressed is, “How do these companies establish, operate, and manage supply-chains in Muslim markets”? Thus, as a preliminary attempt to answer this question, the researcher exhaustively reviews the current state of halal supply-chain management research.

This study included several main findings. First, although there has been an increase in halal literature over the years, the studies mostly focus on Muslim consumer behavior, which means studies on halal supply-chain management are relatively small. Furthermore, the researcher could not locate any studies concerning halal supply-chain management written in Japanese. Second, the researcher identified several challenging problems in the area of operations and management of halal supply-chains such as logistics and traceability. Third, there is still room to research halal supply-chain management more concretely. Some research concerning the requirements of halal supply-chain management in respective areas and ways of selecting suppliers in halal supply-chains have already been conducted. However, the effectiveness of the research results has yet to be verified.

Therefore, comparing those previous studies to business practices and analyzing methods of selecting suppliers may contribute to halal supply-chain management research that enables companies to properly control their halal supply-chains.

Keywords: halal, haram, halal supply chain management, halal logistics

目次

1	はじめに	1
2	ハラールサプライチェーンマネジメントの概要	2
2.1	イスラームにおけるハラール概念の位置づけ	2
2.2	ハラームとされる物事の内容	4
2.3	ハラールサプライチェーンマネジメントの定義	5
2.4	ハラール製品に対する消費者の不買運動	6
3	ハラールサプライチェーンマネジメント研究の位置づけ	9
3.1	調査方法	9
3.2	調査結果	11
4	ハラールサプライチェーンマネジメント研究の現状	13
4.1	ハラールサプライチェーンの問題点	13
4.2	ハラールサプライチェーンマネジメントへの HACCP の応用	19
4.3	ハラールサプライチェーンマネジメントの要求水準	26
4.4	ハラールサプライチェーンにおけるサプライヤーの選定	31
5	結び	33
	参考文献	35
	巻末資料：収集論文の一覧	31

図目次

図 1 ハラール食肉サプライチェーンのハラールコントロールポイント	22
図 2 ハラールサプライチェーンマネジメントの基盤	27
図 3 ハラールロジスティックスの基盤	28
図 4 ハラール規格に対する順守状況の評価マトリックス	33

表目次

表 1 ハラールに関する文献数の推移	11
表 2 ハラールに関する文献の領域別内訳	11
表 3 ハラールに関する文献の対象別内訳	12
表 4 企業に関する文献の内容別内訳	12
表 5 ハラールサプライチェーンの問題点	19
表 6 ハラール食品サプライチェーンのハラールコントロールポイント	24
表 7 サプライチェーンマネジメントへのハラールの適用	27
表 8 輸送でのハラールコントロール	29
表 9 倉庫内でのハラールコントロール	30
表 10 ターミナル(港および空港)内でのハラールコントロール	31

1 はじめに

本稿の目的は、ハラールに関する先行研究を整理することで、「ハラールサプライチェーンマネジメント」(Halal Supply Chain Management; 以下、HSCM と略記)研究の位置づけとその現状を把握することである。

ムスリム(Muslim)¹をターゲットとする市場が、グローバルに事業を展開する企業から注目を集めている。その主たる所以は、世界のムスリム人口の増加に起因する。2010年の時点で16.2億人とされるムスリムの人口は、2030年には、21.9億人に達すると推計されている(Pew Research Center 2011, p.14)。このため、人口の増加に伴い、ムスリムをターゲットとする市場規模も拡大している。消費財を例にあげれば、2013年、世界のムスリムによる食品(飲料品を含む)消費の総額は、1.292兆米ドルであった。その他にも、医薬品消費の総額は720億米ドル、化粧品は460億米ドルであった。2019年には、これらの数値は、各々、2.537兆米ドル(食品と飲料品)、1,030億米ドル(医薬品)、730億米ドル(化粧品)までも成長すると予測されている(Thomson Reuters 2014, p.42, p.220, p.222)²。2030年のムスリムの人口規模を勘案すれば、これらの数値がさらに上昇することは、容易にうかがい知ることができよう。ムスリムの市場は、その潜在的な市場規模において、企業にとって魅力溢れる市場なのである。

しかしながら、企業が同市場へ参入することは、容易なことではない。イスラームが独自の戒律を有するため、その信徒たちは、戒律に則り製品を選択する。それゆえ、市場へ参入する企業は、その戒律に適う製品を供給しなければならない。各国家では、イスラーム法に適った製品であることを保証する「ハラール認証」という取組みが進められており、市場参入を検討する企業は、製品へ同認証の取得を試みている³。宗教的な観点から、製品の製造および供給プロセスを見直すという点において、企業は、従来型のサプライチェーンマネジメントとは異なる取組みが求められる。とりわけ、「ムスリムが多数派の国家」(Muslim Countries; 以下、ムスリム国家と略記)ではなく、「ムスリムが少数派の国家」(non-Muslim Countries; 以下、非ムスリム国家と略記)を拠点とする企業にとって、その取組みは市場参入の課題となる。加えて、無事に市場参入を果たせたとしても、サプライチェーンの運営や管理において、従来とは異なる注意が払われなければならない。もしサ

¹ ムスリムとは、「イスラームの教えに帰依した者」を意味し、イスラームの信徒のことを指す。具体的には、「シャハーダ(信仰告白)を行い、六信を受け入れ、五行を守ることを誓った者」である。六信とは、信仰の礎であり、ムスリムは、アッラー(唯一無二の神)、マラーイカ(天使たち)、クトゥブ(啓典の諸書)、ルスル(預言者たち)、アーヒラ(来世)、カダル(天命)を信じなければならない。五行は、ムスリムの義務行為であり、シャハーダ(信仰告白)、サラート(礼拝)、サウム(断食)、ザカート(喜捨)、ハッジ(巡礼)の5つがある。黒田壽郎(1983)『イスラーム辞典』東京堂出版、p.45、p.137。

² 2019年の数値では、ムスリムが消費する食品と飲料品の総額が世界の21.2%、医薬品が世界の7.7%、化粧品が世界の8.2%を占めると予測されている。Thomson Reuters (2014). *State of the global Islamic economy report 2014/2015*. Thomson Reuters, p.42, p.220, p.222。

³ ハラール認証への取組みは、1960年代初頭に、アメリカや欧州諸国のムスリムの団体によって、食肉のハラール性を確保するために始められた。Lodhi, A. (2013). *Understanding halal food supply chain, third edition*. HFRC UK Ltd, Kindle edition。

プライチェーンの管理を怠った場合、その企業は、市場から厳しい非難を浴びることになるであろう。

かかる状況において、「非ムスリム国家を拠点とする企業が、ムスリムの市場において、如何なるサプライチェーンを構築し、如何にそれを運営および管理していけば良いのか」という基本の問いが提起される。本稿では、この問いに答えるための第一歩として、HSCMに係わる研究の位置づけと現状を探っていく。

なお、本研究において、基本の問いで想定する企業は、海外で事業展開をする日本企業である。それゆえ、上記の問いで言う「ムスリムの市場」とは、日本国内の市場ではなく、日本国外のムスリムの市場を意味している。

2 ハラルサプライチェーンマネジメントの概要

HSCM 研究の位置づけと現状を探る前に、まずは、HSCM の概要を確認することにした。ここでは、その概要を把握するために、次の 2 つの問いに答えていく。それは、「イスラームにおいて、サプライチェーンに何が求められているのか」、「企業が、サプライチェーンの運営および管理を怠った場合、どのような事態に陥るのか」という問いである。これにより、HSCM への要求事項とそれが抱えるリスクを解すことができよう。前者の問いについては、ハラルの概念から出発し、HSCM を定義づけることで答えていく。この問いに対し、ハラル認証の取得基準となるハラル規格を参照することも、有効な手段として考えられる。しかし、国際的にハラル規格の整合性が十分に取られていないという問題が指摘されている⁴。これゆえ、以下では、ハラル規格の参照を最小限に留め、共通認識が持たれているイスラームが有する独自の概念から、HSCM の定義に接近するわけである。後者の問いには、インドネシアとマレーシアで、企業が係わった実際の事件の経緯を辿ることで答えていこう。

2.1 イスラームにおけるハラル概念の位置づけ

ハラルの概念を知るためには、シャリーアと呼ばれるイスラームの聖法をまず見ていく必要がある。シャリーアとは、人間が守らなければならない規範であり、ムスリムの宗教的および世俗的生活が具体的に規定されたものである。つまり、シャリーアは、ムスリムに彼らの行動の善悪を判断する基礎を与えるのである⁵。シャリーアでは、ムスリムの全ての行動は、以下の 5 つに分類される。その分類は、①義務行為、②推奨されるべき行為、③非難も推奨もされない行為、④刑罰には処せられないが、芳しくない行為、⑤禁止された行為である(黒田 1983, p.173)。最後の「禁止された行為」は「ハラーム」(Haram)と呼

⁴ 「ハラル規格およびハラル認証の国際的な不整合」については、本稿の「4.1 ハラルサプライチェーンの問題点」で触れている。

⁵ シャリーアを社会の実状に合わせ、具体化した諸規範の体系を「フィクフ」と呼ぶ。これは、イスラーム法学者の解釈が加わるため、人間による解釈の産物と見なされ、シャリーアとは区別されている。中村廣治郎(1997)『イスラームと近代』岩波書店、p.187。

ばれ、その反対の概念となる「許された行為」が「ハラール」(Halal)となる(黒田 1983, p.184)。両者の概念は、行為だけに留まらず、物と事(行為)の両方に適用されると一般的に考えられている⁶。

ハラールとハラームの関係は、神であるアッラーの言葉を示した「クルアーン」から解すことができる⁷。クルアーンには、以下のように記されている。

アッラーこそは、汝らのために地上の一切のものを創造して下さった方。そして(地上の創造が終ると)今度は穹窿に昇ってそれを均等に七つの天となし給うた。まこと、アッラーはあらゆることに通曉し給う⁸。

天にあるもの、地にあるもの、一切を挙げてお前たちの用に供して下さった。これみな(アッラー)の特別のおはからい。少しものを考えるほどの人間なら、これがれっきとした神兆だとわかるはずではないか⁹。

これらの節が意味するのは、人間の生活を容易にするために神が全てのものを創り出し、禁止された物事を除き、全ての物事が人間に対して許容されるということである(アルカラダーウィー 2005, p.161)。すなわち、ハラールの物事とは、ハラームではない物事となる。このことから、ハラームの物事を理解することが、ハラールの概念を知ることに繋がるのである。

ハラームについては、クルアーンに明確に示されている。それゆえ、イスラームでは、本来、何故ハラームとなるかを問う必要はない(アルカラダーウィー 2005, p.161)。しかし、ハラームとなる理由を無しにして、その概念を理解することは、いささか困難であるように思える。そこで、ここでは、その解説書として著名な『イスラームにおける合法(ハラール)と非合法(ハラーム)』を見ていくことにしたい。以下では、ハラールの概念を把握するために、ハラームとされる物事を物と行為に分けて確認する。なお、最終的には、ハラールの概念から HSCM を定義づけるため、行為についてはサプライチェーンに係わる内容を取り上げる。また、物については、便宜上、食品と飲料品に限定することにしたい。

⁶ 八木(2013)では、ある製品にハラール認証を与えることは、ハラール概念の物象化であると指摘する。ハラールが物の性質を示す概念であるがゆえに、ハラール認証を取得した「ハラールな製品」が成立するわけである。八木久美子(2013)「イスラーム的に消費するということーハラール概念の変容とその意味」『総合文化研究』16、pp.38-39。

⁷ イスラームにおいて、クルアーンがシャリーアの第1法源となる。第2法源は、スンナである。また、スンナの容器としてハディースがある。スンナ自体は、預言者ムハンマドの範例・慣行を意味する抽象概念であり、実質的な内容はハディースに表されている。第3法源は、共同体の合意を意味するイジュマーである。第4法源は、類推を意味するキヤースである。日本イスラム協会・嶋田襄平・板垣雄三・佐藤次高(2002)『新イスラム辞典』平凡社、306頁。

⁸ 『コーラン(上)』井筒俊彦訳、岩波書店、2009年、第2章29節、p.17。

⁹ 『コーラン(下)』井筒俊彦訳、岩波書店、2009年、第45章13節、p.133。

2.2 ハラームとされる物事の内容

ここでは、まずハラームとされる肉と酒に係わる物を取り上げ、その後、ハラームとなる行為を確認する。まずは、肉に係わるハラームから、その内容を見ていくことにしよう。

イスラームでは、肉に係わる以下の4つは、ハラームとされている¹⁰。第1は、死肉である。これは、屠畜や狩猟以外の原因で死んだ動物のことを指す¹¹。かかる方法以外で動物が死亡した場合、自然死だけでなく中毒や病気もその原因として考えられる。仮に動物が中毒や病気で死亡したのであれば、その死肉が人体に対し有害な細菌を持っている可能性がある。そのため、死肉を食すことは、安全衛生の観点から禁止されている(アルカラダーウィー 2005, p.169)。これに加え、屠畜行為が行われていないのも、死肉がハラームとなる理由である。屠畜行為の必要性については、後述することにした。第2は、血液である。血液が禁止される理由は、死肉同様に人体にとって有害となる可能性があるから、また、それを口にすることが人間の行為として相応しくないと考えられているからである(アルカラダーウィー 2005, p.169)。第3は、豚肉である。イスラームでは、豚は不浄な存在とされており、人体に有害であると考えられている。科学的にも、豚肉が寄生動物を運ぶことが証明されている(アルカラダーウィー 2005, pp.169-170)。第4は、アッラー以外に捧げられた動物である。つまり、これは、神であるアッラー以外の名を唱え、屠畜された動物のことを意味する。イスラームでは、屠畜行為も信仰の一部となる。屠畜は、創造された物の命を取ることであるため、アッラーの名を唱えることで許される行為である。すなわち、アッラーの名を唱えることは、創造主の所有物の命を奪う、神聖な許可の宣言なのである(アルカラダーウィー 2005, p.170, pp.172-173)。

次に、酒について見ていきたい。酒とは、酩酊を引き起こす全ての物質を意味する。イスラームでは、酒で酩酊することは、人間関係を壊し、敵意や憎悪を引き起こし、宗教的義務である礼拝を怠らせる原因になると考えられている。酒を摂取することは、たとえ少量であったとしても、それが大量に繋がり、ひいては中毒を起こしかねないため、少量でも

¹⁰ クルアーンでは、肉に係わるハラームな物について、次のように記している。「これ、信徒の者よ、我らが特に汝らのために備えてやったおいしい物を沢山食べるがよいぞ。そしてアッラーに感謝せよ。もし汝らが本当にアッラーにおつかえ申しておるのなら。アッラーが汝らに禁じ給うた食物といえば、死肉、血、豚の肉、それから(屠る時に)アッラー以外の名が唱えられたもののみ。それとても、自分から食い気を起したり、わざと(神命に)そむこうとの心からではなくて、やむなく(食べた)場合には、別に罪にはなりはせぬ。まことにアッラーはよく罪をゆるし給うお方。まことに慈悲の心ふかきお方」。『コーラン(上)』井筒俊彦訳、岩波書店、2009年、第2章172節、173節、49頁。

¹¹ 「死んだ動物」から魚介類は除外される。アルカラダーウィー(2005)、p.171。しかし、イスラームの各法学派によって、魚介類に対する見解は異なる。魚介類については、以下の4つの範疇がある。①ウロコとヒレを持つものは、全てのムスリムに受け入れられる。②ヒレを持つがウロコを持たないもの(ナマズ、フカ、メカジキ、ウナギ、アンコウ、フグなど)は、多数派のムスリムに受け入れられるが、一部のムスリムは許容しない。③水中でなければ生存できない軟体動物、甲殻類、哺乳類(貝、イカ、タコ、エビ、ロブスター、クジラ、イルカなど)は、多数派のムスリムに受け入れられるが、一部のムスリムは許容しない。これらが、ハラームとされる地域もある。④水中または水辺で生活する両生類(ウミガメ、ワニ、カエルなど)は、ハラールと見なされないが、一部の法学派では水生動物として許容している。たとえば、それは、北アフリカに多く分布するマーリキー派である。富沢寿男(2014)「インドネシアの魚食文化と市場開拓」『養殖ビジネス』7月号、p.60。

禁止されなければならない(アルカラダーウィー 2005, pp.174-175)¹²。以上が、肉および酒に係わるハラームとされる物である。

行為のハラームは、サプライチェーンに係わるものとして、次の 3 つを挙げることができる。1 つ目の行為は、ハラームとされる製品の取引である(アルカラダーウィー 2006, p.120)。2 つ目は、ハラームに繋がる行為である。つまり、たとえ当事者でなくとも、ハラームに繋がる行為を行った者は、ハラームを引き起こした責任を負わなければならない(アルカラダーウィー 2005, pp.164)。3 つ目は、ハラームを偽りハラールと称する行為である。名称や形式を変更したとしても、ハラームである本質は変わらない。それゆえ、ハラームをハラールと称することは、不正行為であり禁止されている(アルカラダーウィー 2005, pp.164-165; アルカラダーウィー 2006, pp.121-122)。

それでは、誤ってハラームをハラールと称してしまった場合は、どのように考えられるのであろうか。時として、不正な意図が無く、ハラールと称しハラームの製品が取引されてしまう可能性もある。されど、その行為が、ハラームの行為であることに変わりはない。たとえ高尚な目的の下で行われた行為であったとしても、実践されたハラームの行為は、ハラームのままである。シャリーアでは、正当な手段によってのみ、正義を保証することが求められている。すなわち、意図や目的では手段を正当化することができず、ハラームはハラールとはならないのである(アルカラダーウィー 2005, p.165)¹³。

以上が、ハラームとされる物や行為の概要である。ムスリムは、ハラールの概念に基づいて日々の生活を営むため、以上で述べたハラームな物事を避けなければならない。つまり、ハラールの概念は、ムスリムの生活から、ハラームな物事を排することで成り立つのである。

2.3 ハラールサプライチェーンマネジメントの定義

以上で議論してきたハラールの概念は、サプライチェーンマネジメントに対して、次のように適用可能である。第 1 は、製品のハラール性を確保するため、製品をハラームの物質から完全に隔離しなければならないということである。当然、ムスリムは、ハラームの

¹² クルアーンでは、ハラームとされる酒について、次のように記している。「これ、汝ら、信徒の者よ、酒と賭矢と偶像神と占矢とはいずれも厭うべきこと、シャイターンの業。心して避けよ。さすれば汝ら運がよくなる。シャイターンの狙いは酒や賭矢などで汝らの間に敵意と憎悪を煽り立て、アッラーを忘れさせ、礼拝を怠るようにしむけるところにある。汝らきっぱりとやめられぬか」。『コーラン(上)』井筒俊彦訳、岩波書店、2009年、第5章90節、91節、p.49。

¹³ ただし、必要に迫られた場合は例外となる。たとえば、生命の危機に晒される場合は、ハラームとされる物を食すことは許されている。食品以外には、医薬品にも同様の考え方が適用されている。ハラームの物質が含まれている医薬品を使用する条件は、その医薬品を摂取しないと生命が危険に陥る、代用品が無くハラールな原料からそれを製造できない、イスラームの知識を十分有するムスリムの医師による薬物治療である。アルカラダーウィー(2005)「イスラームにおける合法(ハラール)と非合法(ハラーム)」抄訳 I、遠藤利夫訳、『シャリーア研究』2、p.167, pp.171-172。クルアーンでは、第2章173節と合わせ、以下の箇所にもハラームの例外について記されている。「これ、どうした、アッラーの御名で祝福されたものを汝らなぜ食べないのか。やむをえぬ特別の場合を除いて食ってならぬものについては、すでに詳しく説明して載いてあるではないか」。『コーラン(上)』井筒俊彦訳、岩波書店、2009年、第6章119節、p.230。

物質を消費できないので、ハラールの製品にそれらが含まれてはならない。さらに、製品のハラール性の確保は、ハラームの物質がハラールの製品に混入されることを防ぐだけに留まらない。ハラール規格では、ハラールの製品の製造にハラームの物質を扱った設備および備品を使用することや、サプライチェーン全体を通じて、ハラールの製品とハラームの物質との接触が禁止されている¹⁴。第2は、接触や混入などで製品がハラームとなった場合、サプライチェーンに関わる全ての主体が、その責任を負う可能性があるということである。たとえば、サプライチェーンの川上に位置する業者が、ハラームの物質をハラールの製品に使用した場合、川下に位置する業者もその責任を負うこととなる。第3は、不正な意図がなかったとしても、サプライチェーンを通じて、ハラームの製品をハラールと称して提供してしまった場合は、ハラームの行為と見なされるということである。どんな理由であろうと、企業がかかる事態を引き起こせば、これは、消費者であるムスリムに対して、企業がハラームの行為を行ったことを意味するのである。

以上が、ハラールの概念をサプライチェーンマネジメントに適用した場合の考え方である。この考え方に基づくのであれば、HSCMは、サプライチェーン内で適切に製品のハラール性を管理できる枠組みでなければならない。すなわち、HSCMは、「ハラールの完全性(halal integrity)を、原材料から消費者による製品購入まで拡張することを目的とした、ハラールネットワーク管理(Tieman, Jack & Ghazali 2012, p.219)」と定義づけられる。企業は、特にハラール認証を取得した製品を製造および供給する場合、全てのサプライチェーンの段階において、ハラールの完全性を確保するHSCMへの取り組みが求められるのである。これが、「イスラームにおいて、サプライチェーンに何が求められているのか」の問いに対する答えとなる。

2.4 ハラール製品に対する消費者の不買運動

先の議論で指摘したように、HSCMにおいて、不正な意図の有無に関わらず、製品にハラームの物質が混入され、それがハラールの製品と称して提供されることは許容されない。もしかかる事態が発生すれば、ムスリムの消費者たちは、不買運動という形で企業を激しく非難する。ここでは、企業が実際にこのような事態に陥った事例として、過去に発生した味の素とキャドバリーの事件の顛末を見ていく。これにより、各企業にどのような過失があったのか、また、どのような影響をもたらしたのか、その概要を把握することができる。

2001年1月6日、インドネシアにおいて、味の素の現地幹部の身柄が拘束される事件が

¹⁴ マレーシアの食品に関するハラール規格の第2条3項を参照した。Department of Standards Malaysia (2009). *MS 1500:2009 halal food-production, preparation, handling and storage-general guidelines (second revision)*. Department of Standards Malaysia, pp.1-2. なお、豚に係わる物質(豚の成分も含む)に使用されていた備品や設備は、イスラーム方式の洗浄を行うことで使用可能となる。ただし、そこで再び豚に係わる物質を使用して、再度イスラーム方式の洗浄を実施するという行為は許容されない。Department of Standards Malaysia (2009), p.4, p.15。

発生した。同社のハラール認証を取得した製品(AJI-NO-MOTO)の製造過程で、豚の酵素が使用されていたことが発覚したのである。この事件の波紋は、豚の酵素が使用されていた製品に留まらず、インドネシアに流通する味の素が製造する他の製品(Ajiplus および Masako)にまでおよび、味の素は、全製品の回収を余儀なくされた。回収費用は、およそ 6 億円にものぼったと言われている¹⁵。最終的には、ワヒド大統領が、味の素製品のハラール性を認める表明を出すことで同事件は沈静化した。

そもそも、事件が大規模化したのは、インドネシアのハラール認証機関(インドネシアウラマー協議会(Majelis Ulama Indonesia; 以下、MUI と略記))が、味の素の製品をハラームであると公表したことが発端となった。だが、その製品から豚の成分が検出されたわけではなかった。製品(AJI-NO-MOTO)の製造に要する菌の培地には、バクトソイトンという成分が用いられており、味の素のサプライヤーが、同成分を作る工程で豚の酵素を使用していたのだ(小林 2001, pp.63-67)。

このような事態が発生した理由として、HSCM の取り組みにおいて、味の素側に過失があったと考えられる。通常、ハラール認証を取得した製品の原料を変更する場合、企業は、認証機関へその旨を届け出る必要がある。しかし、1999 年 2 月に変更された培地用のバクトソイトンは、味の素から MUI へは伝えられていなかった(伊藤 2002, p.68)。つまり、味の素は、バクトソイトンに変更してから、MUI が把握していない原料を使用して製品を生産していたのである。それでは、何故、味の素は、原料を変更したことを MUI へ伝えなかったのか。その理由の 1 つは、味の素が、製造の準備段階で豚の酵素を触媒として利用することを、HSCM の問題として認識していなかったことにあると考えられる。味の素の工場関係者から、変更前の培地用の成分の製造工程にも豚の酵素が含まれていたことが証言されている(小林 2001, p.69)¹⁶。これが事実であれば、変更前の培地用の成分について、味の素は、MUI から指摘を受けていなかったこととなる。すなわち、味の素は、豚の酵素が用いられている成分を使用しているにもかかわらず、ハラール認証に不備がなかったため、特段の措置を講じずに生産を継続したと推察できよう。その結果として、同社は、製品がハラームであると公表され、製品回収という事態を招き、ひいてはムスリムたちの信頼を失ったのである¹⁷。

マレーシアでも、味の素の事件と類似した事件が発生した。2014 年 5 月 24 日、マレーシアの保健省が実施した検査で、イギリスの企業であるキャドバリー・コンフェクショナ

¹⁵ 6 億円の回収費用には、人件費や輸送費が含まれていないため、実際には 6 億円以上の費用がかかったと言われている。伊藤文雄(2002)「インドネシアにおける『味の素ハラール事件』」『青山マネジメントレビュー』2、p.70。

¹⁶ 引用元の情報は、インドネシアで出版された雑誌からである。Forum Keadilan, No.40, 41/IX, Januari, 2001, p.79。

¹⁷ 味の素事件の背景には、インドネシアにおける政権争いが影響を及ぼしていると指摘されている。たとえば、宗教に寛容であったワヒド政権に対し、厳格なイスラーム勢力からの揺さぶりとして、味の素が摘発されたという見解がある。伊藤(2002), pp.69-70。しかしその一方で、反大統領派にかかる意図はなかったという指摘もされている。小林寧子(2001)「インドネシアの『味の素』騒動の顛末」『イスラム世界』57、p.70。これゆえ、政治がどれほど味の素の事件に関与していたかは判断し難い。

リーのチョコレート菓子(Cadbury Dairy Milk Hazelnut および Cadbury Dairy Milk Roast Almond)から、豚の DNA が検出されたのだ。翌日の 5 月 25 日に、キャドバリーは、豚の DNA が検出された 2 つの製品を回収する声明を発表した。マレーシアのハラール認証機関(マレーシアイスラーム開発局(Jabatan Kemajuan Islam Malaysia; 以下、JAKIM と略記))は、製品から豚の DNA が検出されたという検査結果を受け、これら 2 つの製品のハラール認証を取り消すことを発表した(畑中 2014, pp.24-25)。しかし、発表の直後に、かかる状況は一転した。保健省科学局が、5 月 26 日にキャドバリーの工場から採取した製品と原材料の検査を行ったところ、豚の DNA は検出されなかったのである。それゆえ、6 月 2 日、JAKIM は、認証を取り消した 2 つの製品がハラールであることを発表した¹⁸。また、当初の検査で豚の DNA が検出された理由については、保健省が検査したサンプルに製造工程以外で豚の DNA が付着した可能性があることを報告した(畑中 2014, p.25)。

このように、最終的には JAKIM から製品のハラール性を認める発表があったが、キャドバリーは、豚の DNA が検出されたという当初の検査結果が公になってしまったため、社会から厳しい非難を受けることとなった。5 月 26 日には、NGO であるマレーシア・マレー人戦線が、キャドバリーに 1 億リング(32 億円弱)の損害賠償を請求することを消費者に対し斡旋した。さらに、同団体は、特別調査班を立ち上げ、損害賠償請求の支援と共に情報収集を進めていくことを発表した。5 月 27 日には、マレーシア・ムスリム消費者協会、マレー人権利主義団体のペルカサ、マレーシア・ムスリム連帯、ハラール・ムスリム起業家協会など、約 20 の団体がキャドバリー製品の不買運動を訴えた(畑中 2014, p.25)。

この事件によって、マレーシア政府の検査能力も、疑われることとなった。ムスリム消費者協会は、豚の DNA が検出された検査結果に対し、保健省に謝罪を求めたのである。同協会は、保健省からの謝罪が行われるまでは、キャドバリー製品の不買運動を継続することを表明した(畑中 2014, p.25)。

以上が、味の素とキャドバリーの事件の顛末である。類似した事例ではあるが、両者には相違点があった。それは、前者の事件には、企業の過失があった可能性があるが、後者においては、企業の過失がなかったということである。だが、ハラール認証を取得した製品に対し、消費者が不買運動という形で企業を激しく非難したという点は一致していた¹⁹。このように、相違点があるにもかかわらず、味の素とキャドバリーが同様の不買運動を受けたという類似点は、先述した通り、イスラームのサプライチェーンに対する考え方から解すことができよう。すなわち、ムスリムたちは、ハラールと称する製品にハラームの物

¹⁸ JAKIM も独自に製品と原材料の検査を行っている。JAKIM は、豚の DNA が検出された 2 製品以外に、4 製品および動物成分が混入される可能性の高い 5 種類の原材料の検査を行った。だが、これらの製品および原材料からは、豚の DNA は検出されなかった。畑中美樹(2014)「改めて注目されそうなハラール認証の対象範囲」『中東協力センターニュース』39(2)、p.25。

¹⁹ ムスリムは、ハラームである豚に対して、強い嫌悪感を持っている。一方で、インドネシアのムスリムは、ハラームとされるアルコール飲料には比較的寛容であるという見解もある。阿良田麻里子(2014)「インドネシアにおける食のハラールの現状」『食品工業』57(5)、pp.36-37。

質が使用された疑いがあれば、それを製造した企業の行為を不正行為と見なすということ、また、その行為が過失であるか否かは問わないということである。以上の議論が「企業が、サプライチェーンの運営および管理を怠った場合、どのような事態に陥るのか」という問いに対する答えである。これにより、HSCM が抱えるリスクを理解することができたであろう²⁰。

ここまで議論してきたことを約すれば、HSCM への要求事項は、「サプライチェーン全体でハラールの完全性を確保すること」であり、そのリスクは、「消費者の不買運動」であった。HSCM に取り組む企業は、以上の要求事項を実践し、それが抱えるリスクに留意しなければならないわけである。

3 ハラールサプライチェーンマネジメント研究の位置づけ

以上の議論では、HSCM の概要を確認した。ここからは、本稿の目的である HSCM 研究の位置づけと現状を探っていく。まずは、ハラールに関する先行研究を整理することで、HSCM 研究の位置づけを明らかにしていく。

3.1 調査方法

本稿では、以下の4つのステップを踏み、HSCM 研究の位置づけを探った。第1ステップでは、英文および邦文ごとに、ハラールに関する文献を時系列にまとめた。この狙いは、ハラールに関する文献数の推移を把握することである。英文については、「ProQuest」、「Science Direct」の検索エンジンから、学術誌(Journal)に限定し、タイトルに「Halal」のキーワードを含む文献を収集した。その後、収集した論文を「自然科学」と「社会科学」の分野に分類した。邦文については、「CINII Article」の検索エンジンを活用し、タイトルに「ハラール」および「ハラール」が含まれる文献を収集した。ここで収集された文献には、学術誌以外に業界誌の文献も含まれていることを断っておきたい。それゆえ、邦文については、研究論文ではない文献も含まれるので、自然科学と社会科学の分類を行っていない²¹。今回の調査で収集した文献は、2015年3月31日に検索した結果に基づいている。

²⁰ キャドバリーの事件においては、「企業が HSCM の取り組みを怠ったわけではない」という反論があるかもしれない。しかし、ここで強調したいことは、ムスリムの市場において、「企業が、サプライチェーンの運営および管理を怠った場合、どのような事態に陥るのか」ということである。仮にキャドバリーが HSCM の取り組みを怠っていたならば、その場合も同様に、ムスリムの消費者からの不買運動を引き起こしたであろう。それゆえ、キャドバリーの事件も、味の素の事件と同じように、企業が HSCM を怠った場合のリスクを示していたと考える。ただし、企業が HSCM の取り組みを怠っていなかったとしても、キャドバリーと同様の事態に陥る可能性があることは事実である。ムスリムの市場では、HSCM の取り組みに関係なく、企業が不買運動のリスクを被る可能性があることを付言しておきたい。

²¹ 「Islam」や「イスラム」および「イスラーム」というキーワードで集計をした場合、その集計結果にハラールに関する文献が含まれる可能性がある。しかし、ハラールを対象としない文献も含まれるのは、容易に予測できる。純粋にハラールに焦点を絞った文献を収集するためにも、本稿では、「Halal」、「ハラール」、「ハラール」というキーワードに限定して検索を行った。

第 2 ステップでは、上記で収集した文献をハラールの領域別に分類した。本研究は、社会科学に位置づけられるため、自然科学の文献は除外した。分類領域は、「全般」、「食品」、「医薬品」、「化粧品」、「観光」、「金融」、「その他」である。全般とは、ハラールの概念を適用する領域が明確に示されていない、扱われているテーマが、食品、医薬品、化粧品、観光などの領域に跨ることを意味する。たとえば、「ハラールブランドの確立」、「ハラールマーケティング」などがこの分類に該当する。食品、医薬品、化粧品、金融は、ハラールの概念を適用する領域が明確に示されていた文献である。「ハラール食品におけるハラール認証の問題」という題目があれば、領域が食品であることが明確なため、これは、食品の領域に分類される。分類群の中に、金融が含まれていることに違和感があるかもしれない。だが、イスラームでは、金融についてもハラールおよびハラームの概念が存在し、これは、シャリーアによって規定されている。たとえば、イスラームでは、利子を取ることがハラームとされている(アルカラダーウィー2006, p.122-123)²²。これゆえ、文献収集の段階で、金融に該当する文献も収集対象となるため、金融という分類領域を設けた。全般、食品、医薬品、化粧品、観光、金融に該当しない文献は、その他に分類した。

第 3 ステップでは、第 1 ステップで収集した文献を対象別に再分類した。第 2 ステップでは各文献が扱う領域別に分類したが、ここでは、文献が扱っている対象に着目した。分類対象は、「企業」、「消費者」、「市場・制度」、「その他」である。「ハラール医薬品に対するイスラーム教徒の消費者行動」という題目があれば、ここでは、消費者に分類される。これは、第 2 ステップであれば、医薬品に分類されることになる。本研究では、サプライチェーンを研究対象としているため、消費財が対象となる。よって、本ステップでは、第 2 ステップで観光、金融、その他に分類された文献を除外した。企業、消費者、市場・制度に該当しない文献は、その他に分類した。

第 4 ステップでは、第 3 ステップで企業に分類した文献を、その内容別に分類した。このステップによって、ハラールに関する文献の中から、HSCM に関する文献が抽出されたことになる。すなわち、ハラールに関する全ての文献の中から、HSCM 研究の位置づけが浮かび上がってきたのである。なお、HSCM に関する文献には、製品の輸送や貯蔵を主たる対象とするハラールロジスティクス(Halal Logistics ; 以下、HL と略記)に関する文献も含まれている²³。その理由は、原材料から消費者による製品購入までの間で、ハラールの完全性を確保する上で、製品の輸送や貯蔵という領域も HSCM の重要な役割を担うからで

²² イスラーム金融では、利子以外にも豚肉、アルコール、賭博、ポルノに係わるビジネスへの関与が禁止されている。さらに、イスラームでは、不確定な存在を対象とする取引や投機も奨励されていない。たとえば、それは、規模の大きい保険やデリバティブ商品である。ただし、イスラームのコミュニティ内での相互扶助的な性格を有する保険等は是認されている。北村歳治・吉田悦章(2008)『現代のイスラーム金融』日経 BP 社、p.33。

²³ ハラールロジスティクスは、「シャリーアの原理に基づき、組織およびサプライチェーンを通じて行われる、調達、輸送、貯蔵の管理プロセス、また、原材料、部品、家畜、食品および食品以外の半製品や製品在庫の取扱プロセス」と定義されている。Tieman, M. (2013). Establishing the principles in halal logistics”, *Journal of Emerging and Islamic Research*. 1 (1), p.5。

ある。内容が明確に判断できなかった文献は、その他に分類した。

3.2 調査結果

HSCM 研究の位置づけを示す手順を端的に述べれば、第 1 に、ハラールに関する文献数の推移を確認すること、第 2 に、ハラールに関する文献を領域別に分類すること、第 3 に、各領域の対象別に分類すること、第 4 に、企業に限定をして内容別に分類することであった。ここでは、これら 4 つのステップを踏んで明らかとなった HSCM 研究の位置づけを示していく。

まずハラールに関する文献を時系列で集計した。表 1 は、ハラールに関する英文および邦文の文献数の推移を示している。これを見ると、2010 年代より、英文および邦文共に文献数が増加している。さらに、その推移は、年を追うごとに増えている。このことから、2010 年を境に、国際的にハラールへの関心が高まってきたことを理解できる。

表 1 ハラールに関する文献数の推移

		1987	1991	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	合計
英文	自然科学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	1	0	3	6	3	8	3	29
	社会科学	0	1	0	1	0	0	2	0	2	1	0	3	3	3	3	12	15	23	43	10	122
邦文		0	0	1	1	2	1	1	2	1	4	2	1	4	4	6	12	20	30	84	16	192

※2015年3月31日時点

出所：筆者作成

次に、上記で収集した文献をハラールの領域別に分類した。表 2 は、その分類結果である。自然科学の文献は、本研究が社会科学に属するため除外されている。領域別に見ると、英文と邦文共に食品に関する文献が圧倒的に多いことがわかる。反対に、医薬品や化粧品に関する文献数は少ない。世界的にムスリムの医薬品および化粧品の市場も拡大することが予測されているため、両分野は、これから研究が進んでいくと考えられよう。

表 2 ハラールに関する文献の領域別内訳

	全般	食品	医薬品	化粧品	観光	金融	その他
英文	23	67	5	3	1	7	16
邦文	21	150	2	4	9	1	5

※2015年3月31日時点

出所：筆者作成

第3ステップでは、第2ステップで収集した文献を各領域の対象別に分類し直した。表3が再分類した結果である。これまで、同じ傾向を示していた英文と邦文の文献が、異なる結果を示している。英文の文献では、消費者を対象とするものが多い一方で、邦文の文献では、市場・制度に関するものが圧倒的に多い。英文の文献では、特に消費者意識に係わる研究が多く、ムスリムに対するアンケート調査がその大半であった。これに対し、邦文の文献は、市場・制度に集中していた。これは、日本が非ムスリム国家であるため、まず「ハラールとは何なのか」を記述することに主眼が置かれているからである。つまり、邦文の文献では、ある枠組みを用いてハラールに関する分析を試みるのではなく、各国家における市場の特徴やハラール認証の制度を説明する内容が多く見受けられた。本研究の対象は企業であるが、英文および邦文においても、企業の取り組みを扱った文献の数は相対的に少なかった。

表3 ハラールに関する文献の対象別内訳

	企業	消費者	市場・制度	その他
英文	29	40	18	11
邦文	29	6	129	13

※2015年3月31日時点

出所：筆者作成

最後に、第4ステップとして、上記で分類された企業に関する文献をその内容別に分類した。表4が、その分類結果である。範囲を企業に限定した場合、英文の文献では、HSCMが研究対象として多く取り上げられていた。他方、邦文の文献では、業界誌も含まれているためか、そのほとんどが、企業によるハラールへの取り組みの紹介であった。邦文の文献には、HSCM研究に分類される文献は1つもなかった。

表4 企業に関する文献の内容別内訳

	ハラールサプライチェーンマネジメント	ハラールに対する意識調査	ハラールマーケティング	ハラールへの取り組み状況の調査	企業倫理	事業紹介	その他
英文	14	8	3	3	1	0	0
邦文	0	0	0	0	0	27	2

※2015年3月31日時点

出所：筆者作成

以上、4つのステップを踏んで、ハラールに関する文献の整理を行ってきた。これにより、

次の5点が明らかとなった。第1に、ハラールは、2010年を境にその関心が高まり、研究が進められてきた比較的に新しい領域であること。第2に、ハラールに関する文献は、食品の領域に集中していること。第3に、英文の文献では、消費者意識に係わる研究が最も盛んに行われていること。第4に、邦文の文献では、ムスリムの市場やハラールに係わる制度を記述するものが中心であること。第5に、邦文の文献では、HSCM研究が全くなされていないことであった。これらの点を約言すれば、調査結果が明らかにしたことは、消費者意識を分析する研究に比べ、HSCMを対象とする研究が相対的に少なく、邦文の文献に至っては、その研究が行われていなかったということである。すなわち、ムスリムの消費者が安心してハラールの製品を購入し、企業が不買運動のリスクを回避するためにもHSCMが必要となるが、その研究は未だ十分になされていないと言えよう。これが、ハラールに関する先行研究全体におけるHSCM研究の位置づけである。

調査で収集した文献とその分類については、一覧を巻末に示してある。

4 ハラールサプライチェーンマネジメント研究の現状

ハラールに関する文献の調査を通じて明らかになったことは、消費者に係わる研究と比べ、HSCM研究が行われてきていないことであった。ここでは、HSCM研究の蓄積が比較的に少ないことを認識しつつも、その領域においてどのような研究がなされてきたのか、その研究の現状を見ていくことにする。

なお、以下の2点について、予め断っておきたい。第1は、HSCM研究の現状を把握するという理由から、先の調査で収集した文献に加え、HSCM研究に関する雑誌、書籍、Proceedingも参照することである²⁴。そして、第2は、HSCMに関する研究の多くは、マレーシアの市場を研究対象としているゆえに、以下で記述される内容は、マレーシアの市場が前提となっていることである。

4.1 ハラールサプライチェーンの問題点

HSCM研究の研究領域には、ハラールサプライチェーンの構成要素を特定および分析し、その問題点を明示したものがある。この領域の先行研究を整理すると、以下の構成要素に係わる問題点が挙げられる。その構成要素は、企業の取り組みに係わる「コミットメント」、「ハラールロジスティックス」、「ハラールトレーサビリティ」と企業を取り巻く環境に係わる「ハラール規格およびハラール認証」、「政府」、「消費者」である。以下では、これら構成要素の概要と合わせ、その問題点を確認していく。

²⁴ HSCM研究の現状を探る時に、扱う文献の対象範囲を広げれば、「3 ハラールサプライチェーン研究の位置づけ」で行った調査結果も変わってくるという意見があるかもしれない。だが、HSCM研究に限らず、ムスリムの意識調査に関する研究など、他の領域についても同様に収集範囲を拡大するのであれば、各研究領域の文献数の相対的關係は変化しないであろう。これゆえ、本稿で行った調査の結果は、文献の収集範囲を拡大したとしても変化しないと考えられる。

コミットメント

ここで意味するコミットメントには、2つの意味がある。1つ目は、企業がハラールサプライチェーンへの取り組みを進めていく際に、経営トップがその取り組みに向けたビジョンを示すことである (Tarmizi, Kamarulzaman, Latiff & Rahman 2014, p.45)²⁵。2つ目は、サプライチェーン内の企業間で交わされるコミットメントである。サプライチェーン内でハラールの完全性を確保するためには、各企業が、ハラール専門の輸送機器や倉庫の使用、ハラール認証の取得、ハラールの教育訓練などに対しコミットメントを表明することが必要とされる(Zulfakar, Anuar & Talib 2014, p.64)²⁶。このように、各組織内でも、またサプライチェーン全体においても、HSCM を実践する上でコミットメントを表明することは、重要な役割を担う。しかし、ハラールに対する認識不足があるため、全ての企業がハラールの完全性の確保に向けて、コミットメントを表明するわけではない。その1つの例として、製造業者が、ハラール専門の輸送機器や倉庫に対して十分な認識をまだ持っていないことが指摘されている。その理由は、製造工程で既にハラール認証を取得しているため、輸送や貯蔵など、サプライチェーン全体でハラールの完全性を確保することに、彼らの意識が向けられていないからである(Ngah, Zainuddin & Thurasamy 2014, p.393)²⁷。

ハラールロジスティックス

ハラール製品の製造業者は、立地や費用を考慮して、製品の輸送を外部の輸送業者に委託する場面が多々ある。また、製品を貯蔵する際に、外部の倉庫業者に委託することもある。それゆえ、適切な HL の運営については、ハラール専用の設備を持つ輸送業者や倉庫業者の役割が大きい(Zulfakar et al. 2014, p.62)²⁸。けれども、サプライチェーン全体を通じて、輸送業者が1つであるとは限らない。いくつもの輸送業者が連なることでサプライ

²⁵ Tarmizi, et al. (2014)では、マレーシアに位置する輸送業者の156人の管理職を対象に、HL構築に係わる要因を特定するため、アンケート調査を実施した。その結果、「変化へのビジョン」、「ハラール保証システム」、「環境」、「従業員の認識」、「経営層からの支援」という要因が、企業のHL構築に影響を及ぼすことが明らかとなった。ここで言う経営層からの支援とは、経営トップを除く、他の経営層を意味している。Tarmizi, H.A., Kamarulzaman, N. H., Latiff, I. A. & Rahman, A. A. (2014). Factors in fluencing readiness towards halal logistics among food-based logistics players in Malaysia. *UMK Procedia*, 1, pp.42-49.

²⁶ Zulfakar et al. (2014)では、ハラール食品サプライチェーンの完全性を向上させるための概念的枠組みを提示している。枠組みを構成する要因は、「ハラール認証」、「ハラール規格」、「ハラールトレーサビリティ」、「ハラール専用設備」、「サプライチェーン内の組織間の信頼性」、「サプライチェーン内の各組織のコミットメント」、「政府の役割」である。Zulfakar, H. M., Anuar, M. M. & Talib M. S. A. (2014). Conceptual framework on halal food supply chain integrity enhancement. *Procidia-Social and Behavioral Sciences*, 121, pp.58-67.

²⁷ Ngah et al. (2014)では、マレーシアに位置するハラールの輸送業および倉庫業を営む3社を対象にインタビュー調査を実施した。そのインタビューでは、マレーシアでハラール専用の輸送機器や倉庫を使用している食品製造業者は、10~15%程しかいないという見解が述べられている。Ngah, H. A., Zainuddin, Y. & Thurasamy, R. (2014). Adoption of halal supply chain among Malaysian halal manufacturers: An exploratory study. *Procidia-Social and Behavioral Sciences*, 129, pp.388-395.

²⁸ Zulfakar et al. (2014)は、ハラール専用の設備を有するロジスティックス業者として、Kontena Nasional, MISC Integrated Logistics, Century Logisitics を挙げている。Zulfakar et al. (2014), p.62.

チェーンは形成されており、その場合、各業者の輸送手順および製品の取扱いが異なることもある。もし輸送業者間の手順が異なれば、サプライチェーン内で一貫した製品の管理ができなくなる。結果として、これは、ハラールの完全性の確保を阻害する要因となる(Talib, Rubin, & Zhengyi 2013, p.11)²⁹。手順が異なるという理由以外にも、輸送業者間の協調性が欠落していることが問題として挙げられている (Talib & Hamid 2014, p.329)³⁰。

これに加え、輸送業者の HL に対する知識不足も問題となる。HL の知識不足の問題は、次の 2 つの理由に起因する。第 1 の理由は、HL の産業が、まだ初期の発展段階にあるからである。初期の段階にあるということは、HL 業者の事業モデルが確立していないことを意味し、そのノウハウが十分に普及していないのである (Talib et al. 2013, p.12)。かかる状況では、仮に従来型の輸送業務に従事していた業者が HL を行ったとしても、製品のハラール性の適切な管理ができない可能性がある。なぜなら、このような業者にとって、ハラールの概念は、馴染みのない考え方だからである。ある輸送業者は、設備内に豚の成分が付着していても、それをハラール専用の設備であると主張していたことが報告されている (Talib et al. 2013, p.13)。第 2 の理由は、HL に限らずロジスティクス産業全体で、専門教育を受けた人材が不足しているからである。ロジスティクス産業は、労働集約産業であり、また、高収入が見込めない事業という認識が一般的にあり、HL の知識を持つ人材が集まってこないのである (Talib & Hamid 2014, p.333)。

上述の HL 産業がまだ初期段階にあることと関連し、HL 事業への参入の問題も存在する。HL 産業が更なる発展を遂げるには、新規業者の参入が必要となるであろう。けれども、同産業に参入するためには、ハラール専用の輸送機器や倉庫を調達しなければならない。つまり、HL 事業へ参入する企業は、多額の資本支出を要するのである。とりわけ、民間の業者にとって、多額の追加的費用を要する同産業への参入は困難となる (Talib et al. 2013, p.14)。

ハラールトレーサビリティ

Zulfakar et al. (2014)によれば、ハラールトレーサビリティは、ハラールの製品の原材料をトレースするだけでなく、製品とハラームの物質が接触する可能性のある地点を特定することも可能である(Zulfakar et al. 2014, p.62)。しかし、ハラール製品内に含まれている物質ではなく、物質間の接触を正確にトレースすることは、容易ではないであろう。先述したように、ハラールサプライチェーンは、数多くの業者が連なって構築されている。それゆえ、輸送業者の運転手の行動を把握することにより、ハラールの製品とハラームの

²⁹ Talib et al. (2013)では、マレーシアの輸送業者 4 社の管理職を対象に、HL の問題点に関してインタビュー調査を実施した。Talib, M.S.A., Rubin, L., & Zhengyi, V. K. (2013). Qualitative research on critical issues in halal logistics. *Journal of Emerging and Islamic Research*, 1 (2), pp.1-20.

³⁰ Talib & Hamid (2014)は、文献調査とマレーシアの輸送業者 4 社に勤めるハラールおよびロジスティクスに精通した管理職を対象にインタビュー調査を行い、得られた調査結果を SWOT の枠組みで分析した。Talib, M.S.A. & Hamid, A.B.A (2014). Halal logistics in Malaysia: a SWOT analysis. *Journal of Islamic Marketing*, 5 (3), pp.322-343.

物質の接触が防止されているかをトレースすることは、その透明性に欠けると言えよう。これは、いわば HSCM における「グレーゾーン」である(Talib et al. 2013, pp.12-13)。

加えて、トレーサビリティの仕組みには、ICT(Information and Communication Technology)システムが利用されているが、輸送業者は、費用を要するため ICT システムの更新に意欲を示していなく、リアルタイムで情報をトレースできていないことも問題となっている(Tan, Razali & Desa 2012, pp.66-67)。

ハラール規格およびハラール認証

ハラール規格とハラール認証の問題として、まず取り上げられるのは、国際的に整合性が取れていないことである。各国家のハラール認証機関が異なる場合、国際的な基準となるハラール認証の実現が難しく、ひいては、ハラールに取り組む企業は、ハラールの完全性を維持し難くなる (Talib & Hamid, 2014 p.352)。つまり、それは、ハラール認証ごとにハラール製品を取り扱う定義や手順が異なることを意味する。具体的には、動物の屠畜方法に関する定義の不一致が問題として挙げられている (Shafie & Othman 2006, p.5)³¹。また、海外から届いた積荷が、その国家で承認されたハラール認証ではない場合、ハラールの製品を取り扱う手順が煩雑になると言われている。結果、余分な手順が増え、企業が負担する費用が増すこととなる(Talib et al. 2013, p.12)。

次に問題とされているのは、ハラールに関する疑義である。ここでは、3つの事例を取り上げたい。1つ目は、企業によるハラール規格への違反行為である。過去にハラール規格の順守に関する調査が行われた際に、51の企業がハラール規格に違反していたことが発覚した。その内、6つの企業は、ハラール認証を取り消され、認証マークの使用が禁止された(The Halal Journal 2011, p.8)³²。2つ目は、偽のハラール認証を使用した不正行為である。過去に、160を超える飲食店が、ハラール認証機関に認められていないハラール認証を購入し、偽のハラール認証マークを使用するという事件が発生した (The Halal Journal 2010, p.8)³³。3つ目は、ハラール認証を取得していない製品のパッケージや店舗の店頭に、アラビア

³¹ Shafie & Othman (2006)では、ハラールに関する問題を特定するため、定性調査と定量調査の両方を行った。定性調査では、食品および食品以外の製造業者、金融業者、保険業者の管理職を対象にインタビュー調査を実施した。また、ハラールやイスラームに関するイベントに参加した消費者への個別のインタビュー調査、特定の消費者を対象としたグループインタビュー調査を実施した。定量調査では、891人を対象にアンケート調査を実施した。Shafie, S. and Othman, M.N. (2006). Halal certification: An international marketing issues and challenges. *Proceedings at the international IFSAM VIIIth World Congress*, pp.1-10.

³² 違反行為は、JAKIM の調査によって発覚した。違反行為を行った 23 の企業については、ハラール認証機関より指示された改善活動を実施し、ハラール認証を再取得した。22 の企業については、違反行為が公表された時点では、改善活動を実施している途中であった。JAKIM の調査は、1,385 の建物や製品を対象に行われた。その内訳は、1,077 の食品、267 のホテルおよび個人経営のレストラン、39 の食肉処理場、2 つの倉庫であった。The Halal Journal (2011). *The Halal Journal Apr-Jun 2011*, p.8, p.10.

³³ インドネシアでも、ハラール認証を巡る不正行為が報告されている。MUI が、ハラール認証の承認および更新において、賄賂を受け取ったとして告訴されたのである。オーストラリアのシドニーを拠点とするハラール認証団体の代表者によれば、認証を得るために MUI に賄賂を贈ることは、慣行的に行われていた。贈賄金額の幅は、3,000 豪ドルから 10,000 豪ドルであり、賄賂は、MUI の代表者の口座に直接振り込まれ

語の用語が表示されるという問題である。これは、ムスリムの消費者がハラール認証を取得した製品や店舗を選択することに対し、彼らを誤認させることになる (Shafie & Othman 2006, p.5)。

最後は、企業とハラール認証機関の関係に関する問題である。2011年、「マレーシアハラール産業開発公社」(Halal Industry Development Corporation；以下、HDCと略記)からJAKIMへハラール認証の認証業務が移行したため、その手続きについて企業の間で混乱が生じている。これにより、ある企業は、申請期間や更新期間が延長し、事業活動の中断を余儀なくされた(Talib et al. 2013, p.13)。さらに、JAKIMへの移行により、ハラール認証の審査が厳格化されたことも指摘されている。審査の厳格化は、追加的な費用の増加に繋がるとして、ある企業より不平が挙げられている(Talib et al. 2013, p.13)³⁴。

政府

政府の役割として、ハラール産業に属する企業への支援をまず挙げることができる。その支援は、ハラールへの取り組みに対する財務支援や教育訓練の実施である。しかしながら、これらの支援が十分に実施されていない側面もある。ある輸送業者によれば、政府の財務支援は、製造業者や中小企業を中心に実施されており、彼らは十分な支援を受けられていない (Talib et al. 2013, pp.14-15)。また、政府から輸送業者に対して、十分な教育訓練が施されてはいないことも問題とされている (Talib et al. 2013, p.15；Talib & Hamid, 2014, pp.329-330)。

法的措置も、政府の重要な役割の1つである。マレーシア政府は、先述のハラール認証を巡る不正行為に対し、「2011年取引表示令」(Trade description order 2011)を定めて対応している。これにより、政府が公認した機関以外は、ハラール認証を発行することができなくなった³⁵。企業や個人は、公認のハラール認証機関以外の認証マークを表示すれば、罰

た。加えて、MUIの団体が2006年にオーストラリアに渡航した際には、7人の担当者に26,000豪ドルを払わなければならなかったとも証言されている。その時に、最も多くの金銭が、MUIの代表者に渡ったとされる。これ以外にも、次の2つの贈賄事件が発覚した。メルボルンを拠点とする Australian Halal Food Service が、食肉処理場のハラール認証を更新する際に、MUIの上級管理職に賄賂を支払ったのである。また別の事件では、オーストラリアのハラール認証団体の当時の財務担当者が、ハラール認証を取得するために、MUIへ50,000豪ドルを支払ったと証言した。これらの一連の贈賄事件に対し、MUIの担当者は、金銭の受領が認証業務を行うための渡航費の範囲内であり、不当利得ではないことを訴えた。合わせて、MUIの代表者は、各国のハラール認証機関から承認されるハラール認証が無償であるべきだと証言した。かかる贈賄事件に対しては、インドネシアの国民からMUIの一連の行為がハラームであるとして、非難の声が上がった。onislam “Aussies Buy Indonesia’s Halal Certificates”, 24 February 2014。MUIとハラール認証を申請する企業の間で、賄賂取引の噂が絶えないことは、小林(2001)でも指摘されている。小林(2001), p.74。

³⁴ JAKIMの審査が厳格化した例として、船舶に対しイスラーム方式の洗浄(samak)を求められたことが挙げられている。Talib et al. (2013), p.13。

³⁵ 「Trade description (certification and marking of 'halal') order 2011」によれば、ハラール認証の権限を持つ管轄機関は、JAKIMと各州のイスラーム宗教評議会(the State Islamic Religious Council)である。マレーシア国外の認証機関の認証マークは、JAKIMに承認されていれば、表示することが可能である。Minister of Domestic Trade, Cooperative and Consumerism(2011). *Trade description (certification and marking of 'halal') order 2011*. Attorney General's Chambers。

金や懲役が課されるのである³⁶。しかし、かかる取り組みによって、ハラール認証の不正利用を抑制することが意図されているものの、この罰則が不十分であるという意見もある(Halim et al. 2014, p.76)。なお、ハラール認証の表示でなくとも、先述のように、ムスリムたちを誤認させるような表示が製品または店頭で行われた場合には、罰金や懲役がそれを行った企業または個人に対して課される³⁷。

消費者

最後は、消費者の役割である。ハラール製品を購入するのは、最終的には、ムスリムの消費者である。消費者が製品を購入するかは、彼らがハラール製品に対して信頼感を持てるか否かに左右される。これゆえ、先述の HSCM が抱えるリスクで述べたのと同様に、企業の取り組みを促すという意味において、消費者の HSCM に対する認識は重要な役割を担っている。だが、その反面、もし消費者による HSCM への認識が乏しかったなら、企業は、この取り組みを推し進めていかないであろう。HSCM の中でも特に HL については、消費者の認識の欠如が問題として挙げられている(Talib et al. 2013, p.15; Ngah et al. 2014, p.393)³⁸。

加えて、HSCM に対する消費者からの要求水準も問題とされる。その理由は、一概に全てのムスリムを同じ括りに囲ってしまうことができないからである。人口の成長率、年齢、

³⁶ 公認の認証機関に認められていないハラール認証マークを表示した場合、法人ならば、250,000 リンギ以下の罰金、2 回目以降の違反であれば 500,000 リンギ以下の罰金が課される。個人であれば、100,000 リンギ以下の罰金または 3 年以内の懲役またはその両方、2 回目以降の違反であれば、250,000 リンギ以下の罰金または 5 年以内の懲役またはその両方が課される Minister of Domestic Trade, Cooperative and Consumerism(2011)。

³⁷ 罰則の対象は、クルアーンで使用されている言葉やイスラームに関連する内容を、食品を販売する建物や食品の容器に表示することである。罰則は、法人ならば、5,000,000 リンギ以下の罰金、2 回目以降の違反であれば 10,000,000 リンギ以下の罰金が課される。個人であれば、1,000,000 リンギ以下の罰金または 3 年以内の懲役またはその両方、2 回目以降の違反であれば、5,000,000 リンギ以下の罰金または 5 年以内の懲役またはその両方が課される。Minister of Domestic Trade, Cooperative and Consumerism(2011). *Trade description (definition of 'halal') order 2011*. Attorney General's Chambers.

³⁸ ムスリムの消費者が HSCM を求めることを明らかにした研究もある。Kamaruddin, Iberahim & Shabudin (2012)では、マレーシアの Klang Valley と Marang の地域で、221 人のムスリムを対象に HL に関するアンケート調査を実施した。調査の結果、消費者は、HL への取り組みを求めており、その取り組みの費用が価格に上乗せされることを認めている。Kamaruddin, R., Iberahim, H. & Shabudin, A. (2012). Willingness to pay for halal logistics: The lifestyle choice. *Procidia-Social and Behavioral Sciences*, 50, pp.722-729. Tieman, Ghazali & Jack (2013)では、ムスリム国家であるマレーシアのムスリムと非ムスリム国家であるオランダのムスリムを対象にアンケート調査を実施した。マレーシアでは、Kuala Lumpur と Petaling Jaya で 251 人から、オランダでは、Hague で 250 人からアンケートを回収した。調査の結果、ハラール製品をハラームの物質から隔離する要求水準は、マレーシアの方がオランダよりも高かった。また、HL への取り組みは、オランダのムスリムよりもマレーシアのムスリムの方が強く求める傾向があった。HSCM の責任を負う主体については、両地域において、小売業者よりも、製造業者に対してその責任が求められていた。Tieman, M., Ghazali, M. C. & Jack G.A.J. van der Vorst (2013). Consumer perception on halal meat logistics. *British Food Journal*, 115 (8), pp.1112-1129. Alqudsi (2014)では、シンガポールから 130 人、マレーシアから 40 人、オーストラリアから 30 人を対象にアンケート調査を実施した。調査の結果、消費者が HSCM を求めていること、HSCM に対して価格の 10~20% の追加的費用を支払う意思があることが明らかとなった。Alqudsi, G. S. (2014). Awareness and demand for 100% halal supply chain meat products, *Procidia-Social and Behavioral Sciences*, 130, pp.167-178.

教育水準、敬虔深さ、地域性に依じて、ムスリムの特性は異なる (Talib et al. 2014, p.123)。それゆえ、企業は、ムスリムの特性に応じた HSCM の実践が必要とされる。HSCM の要求水準に関する研究は、後段に譲ることとする。

以上が、ハラールサプライチェーンの問題点である(表 5)。数ある研究の中でも特に、企業の取り組みにおいては、HL やトレーサビリティの分野に多くの問題が見受けられた。それでは、企業は、どのようにこれらの問題に対処していけば良いのであろうか。残念ながら、上述の研究領域は、あくまでも問題点の列挙に留まっており、これらを解決する方法がほとんど議論されていない。かかる問題点を解決する方法は、HSCM 研究の中でも他の研究領域に求める必要がある。つまり、HSCM の具体的な取り組みに焦点をあてた研究を見ていかなければならない。

表 5 ハラールサプライチェーンの問題点

区分	構成要素	問題点
企業による 取り組み	コミットメント	・ハラール専用設備の必要性への認識不足
	ハラールロジスティクス	・輸送業者間の手順の相違 ・輸送業者間の共同的な取り組みの欠如 ・輸送業者のハラールロジスティクスに対する知識不足 ・ハラールロジスティクス産業がまだ初期の発展段階にある ・ハラールロジスティクス産業への参入に多額の資本支出が必要
	ハラールトレーサビリティ	・サプライチェーン内の各業者の行動までトレースできない ・企業が費用面で ICT システムの更新に意欲を示していない ・リアルタイムで情報のトレースができていない
企業を取り 巻く環境	ハラール規格およびハラール認証	・ハラール規格およびハラール認証の国際的な不整合 ・ハラール規格への違反行為 ・ハラール認証を巡る不正行為 ・ムスリムを誤認させるアラビア語を表示した店舗や製品 ・JAKIM への認証業務の移行による認証手続きの長期化および厳格化
	政府	・ハラールに取り組む輸送業者への財務支援不足 ・ハラールに取り組む輸送業者への教育訓練不足 ・2011 年取引表示法の罰則が不十分
	消費者	・ハラールロジスティクスに対する認識の欠如 ・ムスリム消費者の特性の相違

出所：筆者作成

4.2 ハラールサプライチェーンマネジメントへの HACCP の応用

上記で議論された問題点は、企業を取り巻く環境も含め、大局的な見地から HSCM の分析が行われていた。ここからは、HSCM に関するより実践的な研究内容を見ていくことにしたい。HSCM 研究では、既にある枠組みを応用する研究がいくつか見受けられる³⁹。そ

³⁹ 既存の枠組みを HSCM に応用する研究には、以下のものが挙げられる。Rahman et al. (2013)では、HSCM にサプライチェーンの合理化を進める「Lean supply chain」を導入するために、企業の意識調査を行い、導入の障害となっている要因を分析している。Rahman, M.M., Saibani, N. and Zain, C.R.C.M. (2013). Lean supply chain practices in the halal food. *International Journal of Lean Six Sigma*, 4 (4),

の中でも、食品の分野では、「危害分析重要管理点」(Hazard Analysis and Critical Control Point; 以下、HACCP と略記)を HSCM に応用した研究が行われている。HACCP の考え方を HSCM に応用することが、既にいくつかのハラール規格でも実践されているため、かかる研究領域を概観することは、HSCM の具体的な取り組みを知る上でも有益であろう。それゆえ、以下では、HSCM の運用に関する研究として、HACCP を扱った研究を取り上げることにしたい。

まず HACCP の概要から、簡単に確認しておこう。HACCP とは、「危害要因分析に基づいて健康に悪影響をもたらす原因となる可能性のある食品中の物質または食品の状態の発生を防止または排除、もしくは許容できるレベルにまで低減するための工程(重要管理点)を決めて、その工程を重点的に管理する(小久保・荒木・高島・豊福・長坂 2008, p.12)」仕組みである。危害要因分析とは、危害要因の発生頻度と発生した場合の重篤性に基づいて重要管理点(Critical Control Point; 以下、CCP と略記)を特定することである(小久保ほか 2008, p.83)。CCP の決定後、企業は、それを管理するために作成された HACCP プランに基づき衛生管理を行っていくわけである(小久保ほか 2008, pp.70-71)⁴⁰。かかる枠組みが、HSCM へ応用されている。

HSCM は、ハラールの製品にハラームの物質が混入および接触することを回避しなければならない。それゆえ、ハラームの物質の混入や接触する可能性のある地点を特定するという意味において、HACCP の枠組みを HSCM に応用することは、有効であると考えられる。また、これは、食品の衛生管理という観点からも有用である。イスラームには、「タイイブ」(Tayyib)という概念が存在し、「善きもの」を食べることが推奨されている。つまり、同概念では、食品の栄養価が高いことを強調すると同時に、食品の安全衛生面も重視され

pp.389-408. Zailani, Arrifin, Wahid, Othman & Fernando (2008)は、HSCM におけるトレーサビリティシステムの必要性を議論し、その概念的枠組みの提示を試みている。Zailani, S., Arrifin, Z., Wahid, N. A., Othman, R. & Fernando, Y. (2010). Halal traceability and halal tracking systems in strengthening halal food supply chain for food Industry in Malaysia (a review). *Journal of Food Technology*, 8 (3), 74-81. Tan, Razali & Desa (2012)は、HL における ICT 導入の現状と問題点から、HL に適合した ICT の特徴を考察している。Tan, M.I.I., Razali, R. N. & Desa, M. I. (2012). Factors influencing ICT adoption in halal transportations: A case study of Malaysian halal logistics service providers. *International Journal of Computer Science Issues*, 9 (2), pp.62-71. Anir, Nizam & Masliyah (2008)および Nasir, Norman, Fauzi & Azmi (2011)では、消費者が製品情報を参照するためのシステムである Radio Frequency Identification (RFID)システムに関する研究を行っている。同研究では、消費者へアンケート調査を実施し、RFID の必要性や有用性などを分析している。Anir, N. A., Nizam, M. N. M. H. & Masliyah, A. (2008). The users perceptions and opportunities in Malaysia in introducing RFID system for halal food tracking. *WSEAS TRANSACTIONS on INFORMATION SCIENCE & APPLICATIONS*, 5 (5), pp.843-852. Nasir, M., Norman, A., Fauzi, S. & Azmi, M. (2011). An RFID-based validation system for halal food. *The International Arab Journal of Information Technology*, 8 (2), pp.204-211.

⁴⁰ HACCP の 12 の手順は、1.HACCP チームの編成、2.製品の記述、3.意図する用途および対象となる消費者の確認、4.フローダイアグラム(製造加工工程一覧図)の作成、5.フローダイアグラムを現場で確認、6.危害要因分析(原則 1)、7.重要管理点の決定(原則 2)、8.管理基準の設定(原則 3)、9.モニタリング方法の設定(原則 4)、10.改善措置の設定(原則 5)、11.検証方法の設定(原則 6)、12.記録と保存方法の設定(原則 7)である。小久保瀨太郎・荒木恵美子・高島直樹・豊福肇・長坂豊道(2008)『食品の安全を創る HACCP』日本食品衛生協会、p.23。

ている⁴¹。HACCP の本来の目的は、食品の安全衛生管理であるため、この点からも HACCP を HSCM に応用する意義があると言えよう。

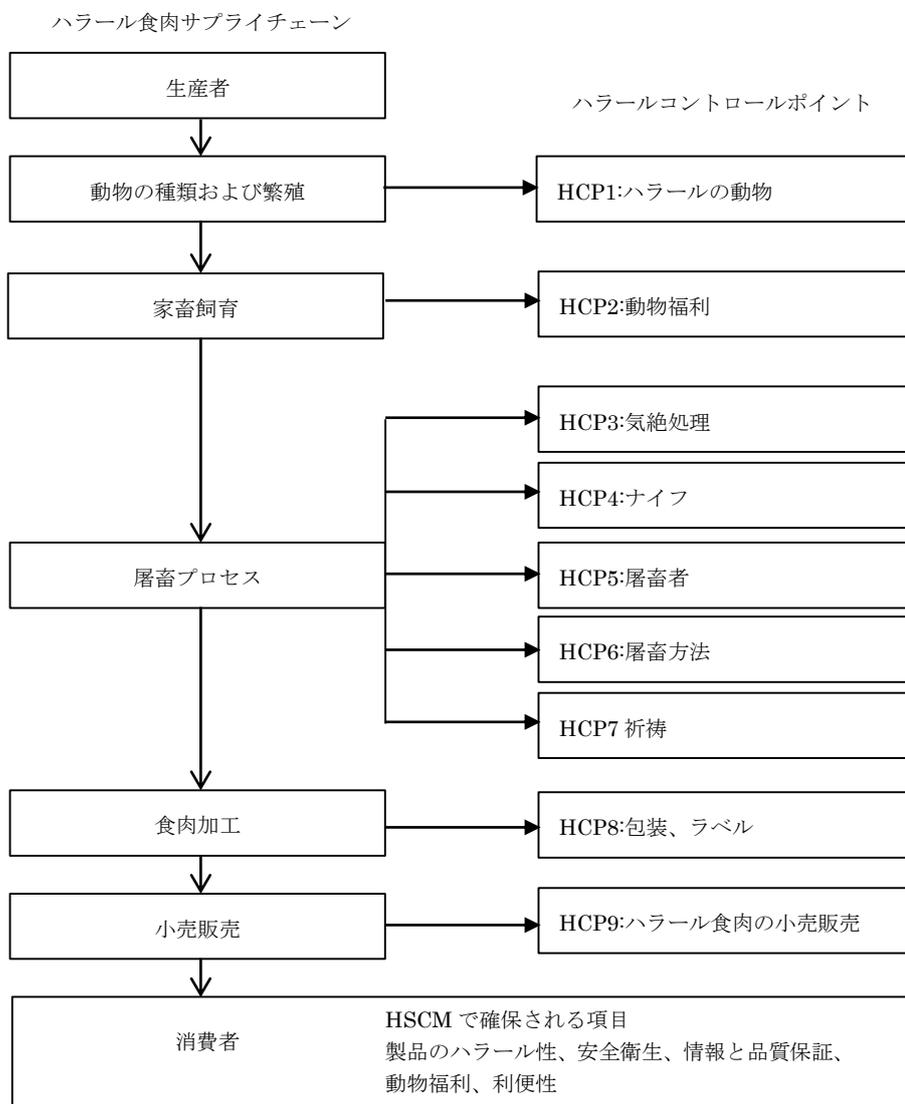
HSCM に HACCP を導入した場合、特定される重要管理点は、「ハラールコントロールポイント」(Halal Control Point; 以下、HCP と略記)と呼ばれる。HACCP では、主に安全衛生に係わる諸問題の防止ではなく、食品中に存在する危害要因を効果的に減少および除去することに焦点が当てられている(小久保ほか 2008, p.87)。一方、HCP を特定する目的は、サプライチェーン内のハラール性に係わるリスクを完全に排除することである。これゆえ、HSCM では、HACCP 以上に厳格な管理が求められることとなる (Riaz & Chaudry 2004, p.3)。

Riaz & Chaudry (2004)は、HACCP の枠組みをハラール製品の製造工程に初めて導入した(Bonne & Verbeke 2008, p.39)。だが、そのアプローチ方法は、原材料別の加工工程に主眼が置かれているため、包括的にサプライチェーン全体の HCP を特定するまでには至っていない⁴²。Bonne & Verbeke (2008)では、ハラール製品の HCP をサプライチェーン全体でコントロールする必要性を述べ、食肉のサプライチェーンの HCP を特定している。Riaz & Chaudry (2004) と異なる点は、HCP の射程に食肉の小売販売店も含まれていることである(図 1)。

⁴¹ タイプの概念は、クルアーンの第 2 章 168 節にある「さあ、みなもの者、地上にあるもののうち、許された、善きものを食うがよい(井筒訳 2009a, p.48)」に由来する。この節の「許された」がハラールであり、「善き」がタイプを意味する。これゆえ、ハラールの製品では、ハラールだけでなくタイプの概念も重要視されている。福島康博(2014)「マレーシアのハラール認証にみるノン・ハラール要因の混入・接触と排除」『食のハラール』早稲田大学アジア・ムスリム研究所リサーチペーパー・シリーズ Vol.3、 p.23。マレーシアのハラール規格では、タイプの概念が栄養面だけでなく、安全衛生の側面からも定義されている。Department of Standards Malaysia (2010a). *MS 2400-1:2010 halalan-toyyiban assurance pipeline-part 1: management system requirement for transportation of goods and/or cargo chain services*. Department of Standards Malaysia, p.8.

⁴² Riaz & Chaudry (2004)は、食肉、乳製品、水産物、シリアル、菓子類、栄養補助食品、ゼラチン、酵素の加工工程における HCP を特定している。Riaz, M. N. & Chaudry M. M. (2004), *Halal food production*, CRC PRESS

図 1 ハラール食肉サプライチェーンのハラールコントロールポイント



出所：Bonne, K. & Verbeke, W. (2008). Religious values informing halal meat production and the control and delivery of halal credence quality. *Agriculture and Human Values*, 25, p.40 より転載。ただし、一部加筆してある。

Lodhi (2013)では、食肉だけでなく食品全般を対象に、ハラールサプライチェーンを原材料の由来、農業生産システム(agricultural production systems)、初期加工、追加加工、製品の製造、流通および小売、食品の提供、消費活動という段階に分けて、HCP となる事項を示している。以下、その内容を簡単に確認したい。

原材料の由来では、その原材料は、当然、ハラールとされる動物および植物でなければならない。これに加え、昨今では動物の人工授精や植物組織の培養も行われているため、原材料となる動物や植物に、遺伝子上、ハラームとされる動物や植物が混ざっていない必要がある。

農業生産システムの段階では、イスラームの倫理に基づき、全ての天然資源の持続可能な使用が求められる。動物に関しては、動物福利への配慮やハラールである飼料の使用も要求される。

初期加工の段階は、農作物の収穫や動物の屠畜が該当する。これらの取り組みを行うムスリムの農場経営者は、神に感謝の意を示すために、イスラームで定められている税を支払わなければならない⁴³。

追加加工は、農作物の殻をとったり、屠畜された動物の皮をはぐ工程である。ここでは、かかる生産物の格付けが重要となる。イスラームの倫理的な観点から、生産物の格付けは、サプライチェーン内の生産者および流通業者の両者が益するように行われなければならない。

初期加工および追加加工を施した生産物は、消費者の手に渡る製品に加工される段階に入る。これが、製品の製造の段階である。ここで特に留意されることは、食品添加物の使用である。ハラールの製品には、ハラームとされる物質から生産された、または、その物質に汚染された食品添加物は使用できない。

流通および小売の段階は、イスラームの道徳的な規範に係わってくる。顧客へ正確な情報を提供するだけでなく、サプライチェーンを通じて、不正な価格設定、価格を吊り上げるための製品の退蔵、ハラールとハラームの製品の同時販売、生産者や労働者の搾取が行われてはならない。

食品の提供の段階では、レストラン、自動販売機、学校、病院など、食品が提供されるあらゆる場所が想定されている。イスラームでは、食品の提供は、有徳な行いと考えられているため、ある地域のコミュニティに低所得者が多数いる場合は、妥当な利幅を設定することが求められる。

最後の段階は、消費活動である。消費者は、既述の通り、HSCMの活動を促す役割を担っている。しかし、それだけでなく、イスラームでは、消費者の消費活動自体も重視されている。イスラームは、その信徒たちに対し、生活の中での節制や自己抑制を求める。それゆえ、食品が豊富にある社会では、ムスリムたちは、食品の消費量を調整し、廃棄される食品の削減に努める必要がある(表 6) (Lodhi 2013)。

⁴³ Lodhi (2013)は、イスラームの税として、ザカート(zakat)とウシュル(ushr)を挙げている。Lodhi, A. (2013). *Understanding Halal Food Supply Chain, Third Edition*, HFRC UK Ltd. Kindle edition. ザカートでは、ムスリムが所有する通貨、家畜、果実、穀物、商品が対象となる。商品には、金銀および埋蔵財貨も含まれる。ザカートでは、これらの対象物を1年以上所有していることが前提となり、以下の最小限の税率が定められている。通貨は2.5%。家畜は、種類によって算定率が異なるが、0.8%から2.5%。果実と穀物は、天水や流水灌漑であれば10%、人力や畜力、または特別な灌漑施設を要する場合は5%。商品は、年収の2.5%。金は5%、銀は2.5%、埋蔵財貨は20%である。ザカートは、貧しい巡礼者、托鉢、借金を返済できない者、乞食、貧しい旅行者、イスラームへの改宗者に対して使用される。ザカートは、法学派毎に若干内容が異なり、以上の説明は、ハナフィー派による。ウシュルとは、十分の一税を意味する。税の内容は、地税、商業税、他国の商人に対する関税である。地税の税率は、果実と穀物に対するザカートと同様である。商業税は年収の2.5%、関税は商品価格の10%である。日本イスラム協会他 (2002)、 p.135、p.237。

表 6 ハラル食品サプライチェーンのハラルコントロールポイント

ハラルサプライチェーンの段階	ハラルコントロールポイント
原材料の由来	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラルに分類される動物および植物 ・通常の繁殖方法において、ハラームに分類される動物および植物からの遺伝子上の汚染がないこと ・遺伝子組換え技術によって、ハラームに分類される動物および植物からの遺伝子上の汚染がないこと ・適用した技術を判断するフィクフ ・ハラル認証 ・完全なトレーサビリティとモニタリングシステム
農業生産システム	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の適切な使用 ・水資源の適切な使用 ・化学薬品(肥料、殺虫剤、除草剤、家畜用の薬品など)の適切な使用 ・ハラルな飼料 ・動物小屋の設置や獣医のケア等による動物福利への対策 ・新規のプロセスや技術を判断するフィクフ ・ハラル認証を取得した農業システム ・完全なトレーサビリティとモニタリングシステム
初期加工	<ul style="list-style-type: none"> ・ザカートとウシュルの支払い(ムスリムの農場経営者の義務) ・ハラル専用または衛生管理された機械設備および備品 ・屠畜方法(dhabia) ・屠畜前の手法(動物の取扱い、待機、気絶処理) ・ハラル製品とノン・ハラル製品の製造ラインの分離 ・適切なラベル ・適切な包装 ・適切な貯蔵と輸送 ・ハラル認証を取得した施設と調達活動 ・完全なトレーサビリティとモニタリングシステム
追加加工	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫後および屠畜プロセス後の適切なプロトコル ・ハラル認証を取得した安全な化学薬品の使用 ・ハラル専用または衛生管理された機械設備および備品 ・公正な格付けシステム ・施設および生産に対するハラル認証の取得 ・完全なトレーサビリティとモニタリングシステム
製品の製造	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラル認証を取得した原材料 ・ハラル認証を取得した追加の原材料(食品添加物、加工助剤など) ・ハラル専用または衛生管理された機械設備および備品 ・産業廃棄物の再利用および適切な処分(倫理面と環境面への配慮) ・ハラル認証を取得した包装物 ・正確な情報を表示したラベル ・適切な貯蔵と輸送 ・施設および生産ラインに対するハラル認証の取得 ・完全なトレーサビリティとモニタリングシステム
流通および小売	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラル認証を取得したロジスティックスの実践による食品サプライチェーンの可視性の確保 ・適切な陳列と公正な価格 ・適切な貯蔵状態 ・顧客のケアとアフターサービス ・ノン・ハラル製品による汚染の防止 ・完全なトレーサビリティとモニタリングシステム
食品の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラル認証を取得した食品の供給 ・衛生基準の保持 ・適切な貯蔵状態

ハラールサプライチェーンの段階	ハラールコントロールポイント
	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラーム製品の接触汚染や偶発的な追加の防止 ・顧客のケアとアフターサービス ・低所得のコミュニティに提供する場合の妥当な利幅 ・食品提供時の廃棄物の再利用(社会面、倫理面、環境面への配慮) ・信頼性のある認証団体による店舗のハラール認証 ・完全なトレーサビリティとモニタリングシステム
消費活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラール認証を取得した小売店 ・家庭内で衛生基準を保持する ・適切な貯蔵状態 ・食品購入の節制 ・食品消費の節制 ・家庭内で廃棄される食品の削減と再利用(倫理面と環境面への配慮)

注：表内の「ハラーム」とは、ハラームであることが明白な物であり、「ノン・ハラール」とは、ハラールである承認を受けていない物を意味する。ノン・ハラール製品であれば、ハラール認証を取得していない製品を意味する。出所：Lodhi, A. (2013). *Understanding halal food supply chain, third edition*. HFRC UK Ltd, Kindle edition を参考に筆者作成。

以上が HACCP を HSCM に応用した研究の概要である。HSCM に HACCP を応用することで、企業は、HCP を特定し経営資源を適材適所に配分することが可能となり、闇雲にハラールサプライチェーンの全体を管理していく必要がなくなるのである。事実、マレーシアや国際ハラール標準同盟(International Halal Integrity Alliance; 以下、IHI と略記)のハラール規格は、HACCP の枠組みを既に導入している。マレーシアのハラール規格では、HCP が予め特定されているのではなく、HACCP の危害要因分析の基準や方法が採用されている(Department of Standards Malaysia 2010a; 2010b; 2010c)。一方、IHI のハラール規格は、ここで見てきた研究と同様に、規格内に HCP を明示している(IHI 2010b; 2010c; 2011)。

以上のように、HACCP を HSCM に応用する研究を見てきたわけであるが、この取り組みが、先述のハラールサプライチェーンを取り巻く諸問題を解決し得るものなのであろうか。確かに、サプライチェーン内で全ての HCP を特定し適切に管理することができれば、問題を解決することは可能かもしれない。しかし、その実践は、ハラール規格においても HACCP の枠組みが導入されていると言えど、容易でないように感ずる。少なくとも、次の 2 つの疑問が解消されなければ、HCP の管理は、適切に行われまいであろう。1 点目は、危害要因分析を実践する場合、どのような基準を以って、HCP を特定するのかという疑問である。たとえば、グローバルにサプライチェーンが展開されている場合、同じ基準を全てのサプライヤーに適用する必要があるのだろうか。2 点目は、サプライチェーン内の全ての HCP を特定したとしても、異なるサプライヤーが存在する状況において、HCP を適切に管理するために、如何に彼らの活動を統制するのかという疑問である。以下では、これら 2 つの疑問に答える手掛かりとして、関連する HSCM 研究を見ていくことにしたい。そして、これによって、HSCM 研究の現状を見定めることができるであろう。

4.3 ハラルサプライチェーンマネジメントの要求水準

先述の最初の疑問に答える手掛かりの1つは、地域に応じて、HSCM への要求水準を明確にすることである。HSCM を実践する場合、従来型のサプライチェーンとは異なる枠組みが求められるが、全ての地域に対し同じ水準で、企業にその取り組みが求められるわけではない。それでは、地域に応じて HSCM への要求水準は、どのように変わってくるのか。以下では、その要求水準を提示している研究を見ていこう。

ハラルサプライチェーンマネジメントの基盤

Tieman(2011)は、イスラーム法学者やハラルの専門家を対象にインタビュー調査を実施し、HSCM の基盤として3つの段階を提示している。それは、避けなければならない「ハラームへの直接的接触」の段階、予防措置を講ずる必要のある「リスク」の段階、最良実践とされる「認識」の段階である(図2)(Tieman 2011, pp.191-193)。

ハラームへの直接的接触とは、製品のハラール性がハラームの物質によって汚染されることを意味するため、必ず避けなければならない段階である。これを防ぐためには、適切な第一次包装および第三次包装が求められる⁴⁴。リスクとは、工程に応じて製品のハラール性に疑義が生じる段階である。イスラームでは、「マシュブーフ」(Mashbooh)という概念があり、ハラールであることが疑わしき物事は避けなければならない(Riaz & Chaudry 2004, p.7)⁴⁵。製品がマシュブーフとなるのは、主にその製品の特性に起因する。たとえば、食肉など、成分が液体として流出する可能性のある製品(wet products)は、乾燥製品(dry products)⁴⁶よりもハラームの接触汚染のリスクが高くなる。また、散荷の製品(bulk products)も、ユニット化された製品(unitized products)よりもそのリスクが高くなる。それゆえ、製品の貯蔵、輸送、取扱時に物理的な隔離という措置が求められる。最後は、認識の段階である。これは、イスラームの各法学派の見解に応じて、製品のハラール性を確保することである。イスラームの各法学派の見解が異なるため、ムスリムの市場の特性も

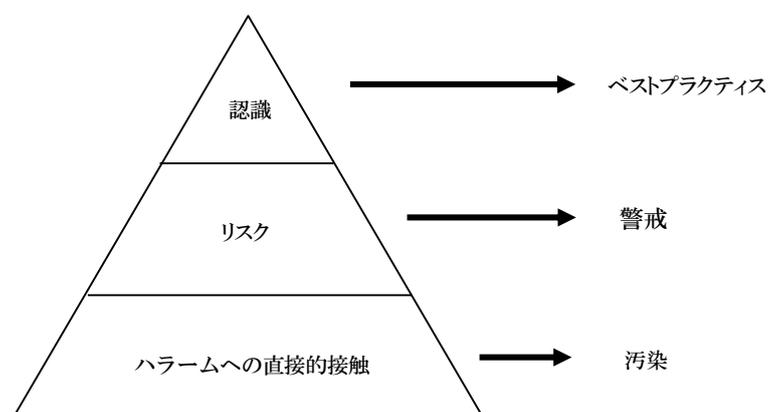
⁴⁴ 第一次包装とは、消費者の購入地点での販売ユニットを構成するものである。第二次包装とは、複数の販売ユニットを1つにまとめたものである。これにより、消費者の購入や棚への補充が容易となる。第三次包装とは、複数の販売ユニットを取扱う場合や販売ユニットの輸送を実施する場合に行われる包装のことである。European Union (1994). *European parliament and council directive 94/62/EC*. Official Journal of the European Communities.

⁴⁵ マシュブーフについては、ハディースに以下のように記されている。「許されていることは明らかであり、また禁じられていることも明らかであるが、この二つのもの間に明らかでなく疑わしいものがあり、これは僅かの人だけが知る。この疑わしいものから己れを護る者は自分の教えと名誉のために身を慎む。疑わしいものにおちいる者は、丁度禁じられた草地の周りで家畜を飼い、ややもすればそこへ侵入しそうな羊飼いのようなものではないか。ところで王はそれぞれ占有の草地をもつが、神の占有地はこの地上にあるすべての禁じられたものである。人間の体の中には或一つの肉の塊があり、それが健全ならば体全体も健康であるが、それが損われると、体も損われる。これは心臓に他ならない」。ブハーリー『ハディース上巻 イスラーム伝承集成』牧野信也訳、中央公論社、1993年、p.36。

⁴⁶ 乾燥製品とは、製品の表面の状態(ambient environment)が乾燥していることを意味する。そのため、缶詰、包装された菓子、ペットボトルの清涼飲料水は、乾燥製品とされる。Tieman, M., Jack G.A.J. van der Vorst & Ghazali, M. C. (2012). Principles in halal supply chain management. *Journal of Islamic Marketing*, 3 (3), p.230.

地域によって異なる。この段階では、イスラーム方式の洗浄を実践することやハラール専用の設備を使用することが、HSCM のガイドラインの例として挙げられている(表7)(Tieman 2011, pp.192-193)。

図 2 ハラールサプライチェーンマネジメントの基盤



出所：Tieman (2011). The application of halal in supply chain management: in-depth interviews. *Journal of Islamic Marketing*, 2 (2), p.192 より転載。

表 7 サプライチェーンマネジメントへのハラールの適用

従属変数	独立変数	ガイドライン
1.ハラームへの直接的接触	ハラームな製品	・ 第一次包装および第三次包装
2.リスク	製品特性： ・成分が流出する可能性のある製品と乾燥製品 ・散荷の製品とユニット化された製品	・ハラール製品専用の運送業者 ・貯蔵、輸送、取扱時のハラールとナジス(najs)の物理的隔離 ・コード化およびラベリング ・サプライヤーの選定 ・トレーサビリティ ・情報共有 ・セキュリティ
3. 認識	市場特性： イスラーム法学派毎の見解	・イスラーム方式の洗浄 ・異なる種類のハラール製品の隔離 ・ハラール専用設備

注：ナジスとは、不浄を意味し、死肉、豚、酒がこれに含まれる。ただし、各法学派によって、ナジスと規定される物には、若干の差異がある。黒田(1983), pp.72-73。

出所：Tieman (2011). The application of halal in supply chain management: in-depth interviews. *Journal of Islamic Marketing*, 2 (2), p.193 より抜粋。

地域に応じたハラールロジスティクスへの要求事項

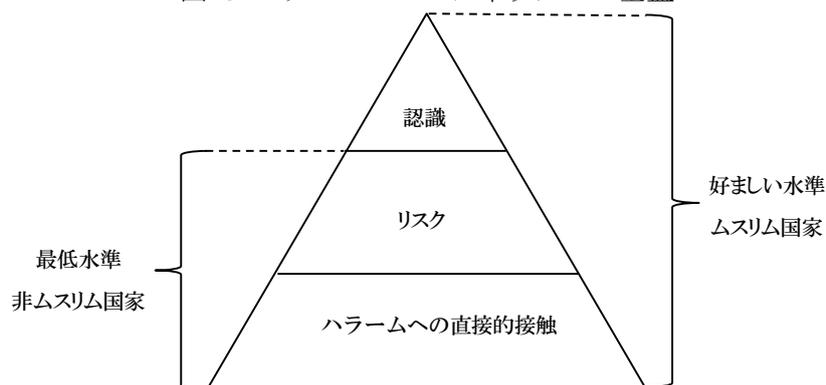
Tieman et al.(2012)では、ハラールサプライチェーンの領域でも、HLに限定し、その要求事項を地域別に提示している。これは、以下の3つの手順によって導かれた。第1に、ハラールの有識者グループによって、HLに関する議論が行われた。これにより、HLの範

困は、輸送、倉庫、ターミナル(港および空港)に限定された。第 2 に、輸送、倉庫、ターミナルにおいて、ハラール性をコントロールする活動を決定するため、各領域で有識者グループを設け議論を行った。第 3 に、提示された諸活動を検証するため、オランダと中国で再度有識者グループを設け議論を行った(Tieman et al. 2012, pp.226-228)。以下では、上記の結果の概要を、確認していくことにしたい。

第 1 の手順では、HL に求められる「最低水準」と「望ましい水準」を導いた。各水準は、先述の「ハラームへの直接的接触」、「リスク」、「認識」の 3 つの段階と照らし合わせることができる。最低水準では、ハラームへの直接的接触とリスクに対応しなければならない。一方、望ましい水準では、ハラームへの直接的接触とリスクに加え、認識の段階にも対応しなければならない。前者の最低水準は、非ムスリム国家に適用され、後者の望ましい水準は、ムスリム国家に対して適用されている。その理由は、ハラームへの直接的接触やリスクは、イスラームの各法学派で共通して対応しなければならない段階であるが、認識の段階は、各学派の見解が異なる場合があるからである。それゆえ、ムスリム国家で HL を実践する時は、イスラームの法学派の相違も考慮しなければならない。しかし、非ムスリム国家でも、最低水準に留まるのではなく、望ましい水準へと次第に移行していくことが求められている。当然、非ムスリム国家から、ムスリム国家へ輸出が行われる時は、ムスリム国家側の要求事項を満たさなければならない(図 3)(Tieman et al. 2012, pp.228-230)⁴⁷。

第 2 および第 3 の手順では、輸送、倉庫、ターミナルにおけるハラール性のコントロールについて議論が行われた。議論の末に提示された諸活動については、表 8、9、10 で示すこととする。

図 3 ハラールロジスティックスの基盤



出所：Tieman, M., Jack G.A.J. van der Vorst & Ghazali, M. C. (2012). Principles in halal supply chain management. *Journal of Islamic Marketing*, 3(3), p.230 の図に一部加筆。

⁴⁷ 要求水準を巡る議論以外には、ハラールの完全性とトレーサビリティに関する議論が行われた。ハラールの完全性については、コンテナと輸送機器に限定され、コンテナ内および輸送機器内でハラールの完全性が確保される必要があるという合意に達した。それゆえ、コンテナや輸送機器の周囲に何が置かれてもそれは問題とならない。トレーサビリティについては、トレーサビリティを実践する範囲(width)と深度(depth)が決められた。範囲は 1 次サプライヤーまでとし、深度は流通加工過程に限定された。Tieman et al. (2012), p.230。

表 8 輸送でのハラールコントロール

ハラールコントロール	最低水準(非ムスリム国家)	望ましい水準(ムスリム国家)
1. 使用前のタンカー、コンテナ、輸送車両の洗浄	・ノン・ハラールおよびそれが不明確な発送物を輸送した場合には、一般的な衛生基準にしたがった方法で洗浄する	・ノン・ハラールおよびそれが不明確な発送物を輸送した場合には、イスラーム方式の洗浄を行う(必要であればイスラーム法学派の見解を参照する。そうでなければ、既存の基準にしたがって洗浄を実施する)
2. 使用前の冷蔵用のコンテナと輸送車両の洗浄	・ノン・ハラールおよびそれが不明確な発送物を輸送した場合には、一般的な衛生基準にしたがった方法で洗浄する	・ノン・ハラールおよびそれが不明確な発送物を輸送した場合には、イスラーム方式の洗浄を行う(必要であればイスラーム法学派の見解を参照する。そうでなければ、既存の基準にしたがって洗浄を実施する)
3. タンカー、コンテナ、輸送車両への荷積みおよび搬入	・ハラールとノン・ハラールの散荷を混載しない ・1つのパレットや積荷でハラール製品とノン・ハラール製品を混載しない ・冷蔵用のコンテナおよび輸送機器でハラール製品とハラーム製品を混載しない	・ハラールとノン・ハラールの散荷を混載しない ・コンテナおよび輸送機器でハラール製品とハラーム製品を混載しない
4. 家畜の輸送	・ハラールの家畜とノン・ハラールの家畜を混在しない	・ハラールの家畜とノン・ハラールの家畜を混在しない
5. 文書添付	・パレットおよび積荷に「HALAL SUPPLY CHAIN」のラベルを表示する ・必ず運送伝票に「HALAL SUPPLY CHAIN」と表示およびそれをコード化する ・損傷、汚染、腐敗、漏出、盗難、混入などがあった場合には、「REJECTED」のラベルを表示する	・パレットおよび積荷に「HALAL SUPPLY CHAIN」のラベルを表示する ・必ず運送伝票に「HALAL SUPPLY CHAIN」と表示およびそれをコード化する ・損傷、汚染、腐敗、漏出、盗難、混入などがあった場合には、「REJECTED」のラベルを表示する

注：表内の「ハラーム」とは、ハラームであることが明白な物であり、「ノン・ハラール」とは、ハラールである承認を受けていない物を意味する。ノン・ハラール製品であれば、ハラール認証を取得していない製品を意味する。

出所：Tieman, M., Jack G.A.J. van der Vorst & Ghazali, M. C. (2012). Principles in halal supply chain management. *Journal of Islamic Marketing*, 3(3), p.233 より転載。

表 9 倉庫内でのハラールコントロール

ハラールコントロール	最低水準(非ムスリム国家)	望ましい水準(ムスリム国家)
1.ハラール製品の受領	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物に貼付されている運送伝票、ラベル、マークおよび貨物と包装の点検を通じて、ハラール状態を検証する ・「HALAL SUPPLY CHAIN」のラベルが表示されていない場合、そのラベルを表示する 	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物に貼付されている運送伝票、ラベル、マークおよび貨物と包装の点検を通じて、ハラール状態を検証する ・「HALAL SUPPLY CHAIN」のラベルが表示されていない場合、そのラベルを表示する ・ノン・ハラール製品を倉庫へ搬入することは認められない
2.ハラール製品の一時保管	<ul style="list-style-type: none"> ・不合格品(損傷、腐敗、破損、汚染、盗難、混入など)には、「REJECTED」のラベルを表示する ・不合格品調査のために隔離エリアへ移動する ・1つのパレットや積荷でハラール製品とノン・ハラール製品を混載しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・不合格品(損傷、破損、汚染、盗難、混入など)には、「REJECTED」のラベルを表示する ・不合格品調査のために隔離エリアに移動する
3.ハラール製品の貯蔵	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラール製品専用の貯蔵エリアや棚を設ける(ハラール製品とノン・ハラール製品を一緒に積まない) ・同一の冷蔵室にハラール製品とハラーム製品を混在させない 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当しない
4.ハラール製品のクロスドッキング	<ul style="list-style-type: none"> ・可能であれば、ハラール製品専用の中間バッファエリアを設ける ・1つのパレットや積荷でハラール製品とノン・ハラール製品を混載しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当しない
5.ハラール製品の付加価値ロジスティックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラール製品専用の付加価値ロジスティックスエリアを設ける ・既存のハラール製品とノン・ハラール製品の在庫管理ユニット(Stock Keeping Units; SKUs)を新しいユニットと混在させない ・1つのパレットや積荷でハラール製品とノン・ハラール製品を混載しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当しない
6.ハラール製品のオーダーピッキング	<ul style="list-style-type: none"> ・1つのパレットや積荷でハラール製品とノン・ハラール製品を混載しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・該当しない
7.ハラール製品の発送	<ul style="list-style-type: none"> ・「HALAL SUPPLY CHAIN」のラベルが表示されていない場合、そのラベルを表示する ・必ず運送伝票に「HALAL SUPPLY CHAIN」と表示およびそれをコード化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・「HALAL SUPPLY CHAIN」のラベルが表示されていない場合、そのラベルを表示する ・必ず運送伝票に「HALAL SUPPLY CHAIN」と表示およびそれをコード化する

注：表内の「ハラーム」とは、ハラームであることが明白な物であり、「ノン・ハラール」とは、ハラールである承認を受けていない物を意味する。ノン・ハラール製品であれば、ハラール認証を取得していない製品を意味する。出所:Tieman, M., Jack G.A.J. van der Vorst & Ghazali, M. C. (2012). Principles in halal supply chain management. *Journal of Islamic Marketing*, 3 (3), p.230 より転載。

表 10 ターミナル(港および空港)内でのハラールコントロール

ハラールコントロール	最低水準(非ムスリム国家)	望ましい水準(ムスリム国家)
1.ハラール製品の調査	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物に貼付されている運送伝票、ラベル、マークおよび貨物と包装の点検を通じて、ハラール状態を検証する ・点検のためにハラール製品を指定の点検エリアに移動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・貨物に貼付されている運送伝票、ラベル、マークおよび貨物と包装の点検を通じて、ハラール状態を検証する ・点検のためにハラール製品を指定の点検エリアに移動する
2.冷蔵室内へのハラール製品の一時貯蔵	<ul style="list-style-type: none"> ・ハラール製品用の指定区域および棚を設ける(ハラール製品とノン・ハラール製品を一緒に積まない) ・同一の冷蔵室内にハラール製品とハラーム製品を混在させない 	<ul style="list-style-type: none"> ・同一の冷蔵室内にハラール製品とハラーム製品を混在させない
3.製品の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・1つのパレットや積荷でハラール製品とノン・ハラール製品を混載しない ・冷蔵用のコンテナおよび輸送機器でハラール製品とハラーム製品を混載しない 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテナおよび輸送機器でハラール製品とハラーム製品を混載しない
4.ハラールの家畜の待機	<ul style="list-style-type: none"> ・待機場場でハラールとノン・ハラールの家畜を混在させない 	<ul style="list-style-type: none"> ・待機場場でハラールとノン・ハラールの家畜を混在させない
5.文書添付	<ul style="list-style-type: none"> ・パレットおよび積荷の「HALAL SUPPLY CHAIN」のラベルはハラール認証製品のコードである ・必ず運送伝票に「HALAL SUPPLY CHAIN」と表示およびそれをコード化する ・損傷、汚染、腐敗、漏出、盗難、混入などがあった場合には、「REJECTED」のラベルを表示する 	<ul style="list-style-type: none"> ・パレットおよび積荷の「HALAL SUPPLY CHAIN」のラベルはハラール認証製品のコードである ・必ず運送伝票に「HALAL SUPPLY CHAIN」と表示およびそれをコード化する ・損傷、汚染、腐敗、漏出、盗難、混入などがあった場合には、「REJECTED」のラベルを表示する

注：表内の「ハラーム」とは、ハラームであることが明白な物であり、「ノン・ハラール」とは、ハラールである承認を受けていない物を意味する。ノン・ハラール製品であれば、ハラール認証を取得していない製品を意味する。出所：Tieman, M., Jack G.A.J. van der Vorst & Ghazali, M. C. (2012). Principles in halal supply chain management. *Journal of Islamic Marketing*, 3 (3), p.233 より転載。

4.4 ハラールサプライチェーンにおけるサプライヤーの選定

上述した 2 点目の疑問に答える手掛かりは、ハラールサプライチェーンを構成するサプライヤーの選定にある。なぜなら、適切な基準に基づきサプライヤーを選定することができれば、その活動の統制が容易となり、ひいては HCP の管理にも繋がると考えるからである。Tieman & Ghazali (2013)では、サプライヤーの選定基準およびサプライヤー評価の枠組みが示されている。ここでは、どのような基準を以ってサプライヤーを選定し評価する必要があるのか、その内容を見ていくことにする。

Tieman & Ghazali (2013)では、サプライヤーの選定基準として、7つの基準を提示している。第 1 の基準は、ハラールである製品および原材料の使用である。屠畜方法や動物由来の酵素の使用については、イスラームの法学派で解釈が異なることもあるため、注意を払わなければならない。第 2 は、経営トップがハラール方針を通じて、ハラールに対するコミットメントを表明することである。ハラール方針や経営トップからのコミットメントにより、組織内でハラールに対する認識を醸成することが重要となる。第 3 は、ハラール

認証の有無である。ハラール認証は、客観性を持ってハラール規格の要求事項が順守されているかを確認する必要があるため、独立した機関によって行われなければならない。第4は、安全衛生基準の順守である。ハラールの製品では、先述のタイプの概念も重視されているため、製品および原材料は、安全衛生基準を満たしていなければならない。第5は、HLが使用されていることである。HLに係わる認証を通じて、その取り組みが実践されることが推奨されている⁴⁸。第6は、シャリーアに基づく金融機関の使用である。既述の通り、イスラームで推奨される金融活動は、利子の禁止からも理解できるように独自の概念を有する。よって、サプライチェーン全体で、ハラールの完全性を厳格に確保するためには、資金調達などの場面で、サプライヤーは、シャリーアに準ずる金融機関の使用が推奨される。第7は、製品の取引価格である。サプライヤーの選定をする企業は、不当に高価格な製品を提供するサプライヤーを避ける必要がある。加えて、先に述べたように、シャリーアに準じて、取引価格に利子が含まれることは認められない。以上がサプライヤーを選定する7つの基準である(Tieman & Ghazali 2013, pp.287-289)。

かかる基準を以って、企業は、サプライヤーを選定することが可能となるわけである。だが、上記の全ての基準に適ったサプライヤーだけで、企業がハラールサプライチェーンを構成することは、容易なことではないであろう。したがって、サプライヤーの現状を適切に評価および把握し、その活動を改善していくことが必要となる。

Tieman & Ghazali (2013)では、ハラール規格に対するサプライヤーの順守状況を評価する枠組みを提示している(図4)。この枠組みでは、サプライチェーン内のサプライヤーは、原材料、包装、ロジスティックス、食品加工設備、MRO(Maintenance, repair, and operations)、保険の段階に分類され、彼らの活動がハラール規格に順守しているかが評価される。縦軸が1つの製品に係わる各段階のサプライヤー数を示しており、横軸がハラールと承認されたサプライヤーの割合である。ハラール規格へ順守しているサプライヤーの割合が高いカテゴリーを下から並べることにより、どの段階に位置するサプライヤーの取り組みが不十分であるかが、この図から読み取ることができる(Tieman & Ghazali 2013, p.285)。

ただし、ここで提示されている枠組みは、あくまでもハラール規格に順守しているか否かが評価の基準となっている。それゆえ、サプライヤーの活動にハラール規格および上述の選定基準と乖離があった場合、それらの諸活動を是正していかななければならない。Tieman & Ghazali (2013)は、企業がハラール購買チーム(halal purchasing team)を設置し、サプライヤーの統制を推し進めていく必要性を述べている。既述の選定基準にしたがって、サプライヤーに対し、シャリーアに準ずる金融機関の使用を促すことや、動物由来から植物由来の原材料への変更を求めることが、ハラール購買チームの活動の例として挙げられ

⁴⁸ マレーシアでは、2013年7月に、輸送および倉庫の取り組みに対するハラール認証の受付が開始した。日本企業の中では、日本通運が、2014年12月に輸送のハラール認証を取得した。日本通運(2015)「ハラール物流への取り組み」農林水産省ホームページ。

ている(Tieman & Ghazali 2013, p.285)。

図 4 ハラール規格に対する順守状況の評価マトリックス



出所：Tieman, M. & Ghazali, M.C. (2013). Principles in halal purchasing. *Journal of Islamic Marketing*, 4 (3), p.285
より転載。ただし、体裁を若干変更してある。また、文言も本稿の内容に合わせて変更を加えてある。

ここまで、HCPを管理していく際の2つの疑問に答える手掛かりとして、2つの領域に係わるHSCM研究を見てきた。約言すれば、かかる研究は、地域別にHSCMの要求水準を明確にすること、また、サプライヤーの選定および評価を適切に行い、サプライヤーの活動を統制することであった。されど、これらの研究は、あくまでも疑問に答えるための手掛かりであり、その答えにはならないであろう。なぜなら、いずれの研究も具体的な検証が十分に行われていなく、企業が実践するレベルで、これらの枠組みが機能するかが不明瞭な状況にあったからである。したがって、HSCM研究の現状は、HSCMを実践する枠組みの提示に留まっていると言えよう。この現状を踏まえるならば、ここで得られた知見を実践の場に落とし込むことができるのかを検討することが、HSCM研究の今後の課題になると考える⁴⁹。そして、これが本稿で提示した基本の問いの答えに繋がるのである。

5 結び

本稿では、ハラールに関する先行研究を整理し、HSCMの位置づけとその現状を確認してきた。これは、本稿の基本の問いとなる「非ムスリム国家を拠点とする企業が、ムスリムの市場において、如何なるサプライチェーンを構築し、如何にそれを運営および管理していけば良いのか」に答えるための第一歩となる試みであった。本稿を締め括るにあたり、今一度、その内容を振り返りたい。

まず、本稿は、HSCMの概要を把握するため、ハラールの概念とサプライチェーンマネジメントの関係を確認した。これにより、HSCMでは、サプライチェーン全体を通じて、

⁴⁹ Tieman 自身も、サプライヤーの選定も含め、ハラールの調達活動の領域において、具体的な検証が今後の課題であることを指摘している。Tieman, M. & Ghazali, M. C. (2013). Principles in halal purchasing. *Journal of Islamic Marketing*, 4 (3), p.290。

ハラールの完全性の確保が求められていることを理解した。仮に企業が HSCM の取り組みを怠った場合、ムスリムの消費者たちは、不買運動という形でその企業を容赦なく非難する。企業による過失の有無は関係なく、サプライチェーン内で製品にハラームの物質が使用された疑いがあれば、それがハラールの製品と称して提供されることは許容されないのであった。このことは、味の素とキャドバリーの事件が物語っていた。

次に、4 つのステップを踏み、ハラールに関する英文と邦文の文献を分類し、HSCM 研究の位置づけを探った。そうすることで、2010 年を境にハラールに関する文献数が増加する中、それらの研究の主たる関心が、ムスリムの消費者の認識や行動に集中していることがわかった。すなわち、HSCM 研究は、ハラールに関する先行研究の中で、相対的に少ないことが明らかとなった。HSCM 研究は、ハラールの完全性の確保および不買運動リスクの回避という意味において、消費者と企業の両者に益すると考えられるが、それに対する関心は高くなかったのである。邦文の文献においては、その研究は、1 つも見受けることができなかった。

最後に、HSCM 研究の現状を概観した。ハラール認証によって、ハラールへの取り組みが推進される一方で、ハラールサプライチェーンには、未だ多くの問題が存在していた。とりわけ、企業の取り組みに焦点をあてれば、HL やトレーサビリティの領域に問題を見ることができた。HSCM の具体的な取り組みを扱った研究領域に目を向けてみれば、ここでは、HACCP の枠組みを HSCM に応用する研究が行われていた。そして、かかる枠組みは、既存のハラール規格にも導入されていた。しかし、グローバルにサプライチェーンが展開される中、如何に企業が HCP の特定や管理をしていくのかという疑問を投げかけた時、それに対する答えは不明瞭な状況にあった。確かに、地域別に HSCM に対する要求水準を提示する研究や、サプライヤーの選定方法に関する研究がなされていたが、それらを実際の現場に適用できるかは検証されていなかった。すなわち、先行研究で議論された内容が実践の場にそぐうか、あるいは修正を行う必要があるのかを検討することが、HSCM の研究領域における今後の課題であった。

本稿では、以上の議論を展開してきた。これら全ての事項を勘案すれば、グローバル企業が実践するサプライヤーの選定基準や HCP の管理方法を、先行研究と照し合せながら分析することで、HSCM 研究の分野に貢献できる知見が得られるであろう。そして、これは、基本の問いの答えを導き出す手掛かりにもなるのである。関心が高まり続ける HSCM の分野に、今後も注目していきたい。

参考文献

英文参考文献

- Alqudsi, G. S. (2014). Awareness and demand for 100% halal supply chain meat products. *Procedia-Social and Behavioral Sciences*, 130, 167-178.
- Anir, N. A., Nizam, M. N. M. H. & Masliyana, A. (2008). The users perceptions and opportunities in Malaysia in introducing RFID system for halal food tracking. *WSEAS TRANSACTIONS on INFORMATION SCIENCE & APPLICATIONS*, 5(5), 843-852.
<http://www.wseas.us/e-library/transactions/information/2008/27-273N.pdf> (2015 年 3 月 31 日取得)
- Bonne, K. & Verbeke, W. (2008). Religious values informing halal meat production and the control and delivery of halal credence quality. *Agriculture and Human Values*, 25, 35-47.
- Department of Standards Malaysia (2009). *MS 1500:2009 halal food—production, preparation, handling and storage—general guidelines (second revision)*. Department of Standards Malaysia
- Department of Standards Malaysia (2010a). *MS 2400-1:2010 halalan-toyyiban assurance pipeline-part 1: management system requirement for transportation of goods and/or cargo chain services*. Department of Standards Malaysia
- Department of Standards Malaysia (2010b). *MS 2400-2:2010 halalan-toyyiban assurance pipeline-part 2: management system requirement for warehousing and related activities*. Department of Standards Malaysia
- Department of Standards Malaysia (2010c). *MS 2400-3:2010 halalan-toyyiban assurance pipeline-part 3: management system requirement for retailing*. Department of Standards Malaysia
- European Union (1994). *European parliament and council directive 94/62/EC*. Official Journal of the European Communities.
<http://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=CELEX:31994L0062> (2015 年 3 月 31 日取得)
- Halim, M., Mohd, K. W. B., Salleh, M. M. M., Yalawae, A., Omar, T. S. M. N. S., Ahmad, A., Ahmad, A. A. B. & Kashim, M. I. A. B. M. (2014). Consumer protection of halal products in Malaysia: A literature highlight. *Procedia-Social and Behavioral Science*, 121, 68-78.
- Ibrahim, H. & Mokhtarudin, M. (2010). Fraudulent quality labelling: Case of halal labelling. *China - USA Business Review*, 9(9), 41-47.
- International Halal Integrity Alliance (2010a). *IHIAS 0100:2010 ICCI—ALLIANCE*

- halal standard logisitics*. International Halal Integrity Alliance.
- International Halal Integrity Alliance (2010b). *IHIAS 0200:2010 ICCI–ALLIANCE halal standard food services*. International Halal Integrity Alliance.
- International Halal Integrity Alliance (2010c). *IHIAS 0600:2010 ICCI–ALLIANCE halal standard slaughtering and processing*. International Halal Integrity Alliance.
- International Halal Integrity Alliance (2011). *IHIAS 0400:2011 ICCI–ALLIANCE halal standard animal feed and inputs*. International Halal Integrity Alliance.
- Kamaruddin, R., Iberahim, H. & Shabudin, A. (2012). Willingness to pay for halal logistics: The lifestyle choice. *Procidia-Social and Behavioral Sciences*, 50, 722-729.
- Lodhi, A. (2013). *Understanding halal food supply chain, third edition*, HFRC UK Ltd, Kindle edition
- Minister of Domestic Trade, Cooperative and Consumerism (2011). *Trade description (certification and marking of 'halal') order 2011*. Attorney General's Chambers.
http://www.puntofocal.gov.ar/notific_otros_miembros/mys27_t.pdf (2015年3月31日取得)
- Minister of Domestic Trade, Cooperative and Consumerism(2011). *Trade description (definition of 'halal') order 2011*. Attorney General's Chambers.
http://www.puntofocal.gov.ar/notific_otros_miembros/mys27_t.pdf (2015年3月31日取得)
- Nasir, M., Norman, A., Fauzi, S. & Azmi, M. (2011). An RFID-based validation system for halal food. *The International Arab Journal of Information Technology*, 8 (2), 204-211.
<http://ccis2k.org/iajit/PDF/vol.8,no.2/13-1394.pdf> (2015年3月31日取得)
- Ngah, H. A., Zainuddin, Y. & Thurasamy, R. (2014). Adoption of halal supply chain among Malaysian halal manufacturers: An exploratory study. *Procidia-Social and Behavioral Sciences*, 129, 388-395.
- Pew Research Center (2011). *The future of the global Muslim population projections for 2010-2030*. Pew Research Center.
http://www.euro-muslims.eu/future_global.pdf (2015年3月31日取得)
- Rahman, M.M., Saibani, N. & Zain, C.R.C.M. (2013). Lean supply chain practices in the halal food. *International Journal of Lean Six Sigma*, 4(4), 389-408.
- Riaz, M. N. & Chaudry M. M. (2004). *Halal food production*, CRC PRESS.
- Shafie, S. & Othman, M.N. (2006). Halal certification: An international marketing issues and challenges. *Proceedings at the international IFSAM VIIIth World Congress*, 1-10.
<http://novintarjome.com/wp-content/uploads/2013/08/852056855.pdf> (2015年3月31日取得)

日取得)

- Talib, M.S.A., Rubin, L., & Zhengyi, V. K. (2013). Qualitative research on critical issues in halal logistics. *Journal of Emerging and Islamic Research*, 1 (2), 1-20.
- Talib, M.S.A. & Hamid, A.B.A (2014). Halal logistics in Malaysia: a SWOT analysis. *Journal of Islamic Marketing*, 5 (3), 322-343.
- Tan, M.I.I., Razali, R. N. & Desa, M. I. (2012). Factors influencing ICT adoption in halal transportations: A case study of Malaysian halal logistics service providers. *International Journal of Computer Science Issues*, 9 (2), 62-71.
- Tarmizi, H.A., Kamarulzaman, N. H., Latiff, I. A. & Rahman, A. A. (2014). Factors influencing readiness towards halal logistics among food-based logistics players in Malaysia. *UMK Procedia*, 1, 42-49.
- Tieman, M. (2011). The application of halal in supply chain management: in-depth interviews. *Journal of Islamic Marketing*, 2 (2), 186-195.
- Tieman, M., Jack G.A.J. van der Vorst & Ghazali, M. C. (2012). Principles in halal supply chain management. *Journal of Islamic Marketing*, 3 (3), 217-243.
- Tieman, M. (2013). Establishing the principles in halal logistics. *Journal of Emerging and Islamic Research*, 1 (1), 1-13.
<http://ir.uitm.edu.my/8439/1/Marco%20Tieman.pdf> (2015年3月31日取得)
- Tieman, M. & Ghazali, M. C. (2013). Principles in halal purchasing. *Journal of Islamic Marketing*, 4 (3), 281-293.
- Tieman, M., Ghazali, M. C. & Jack G.A.J. van der Vorst (2013). Consumer perception on halal meat logistics. *British Food Journal*, 115 (8), 1112-1129.
- Thomson Reuters (2014). *State of the global Islamic economy report 2014/2015*. Thomason Reuters.
- Zailani, S., Arrifin, Z., Wahid, N. A., Othman, R. & Fernando, Y. (2010). Halal traceability and halal tracking systems in strengthening halal food supply chain for food industry in Malaysia (A Review). *Journal of Food Technology*, 8 (3), 74-81.
- Zulfakar, H. M., Anuar, M. M. & Talib M. S. A. (2014). Conceptual framework on halal food supply chain integrity enhancement. *Procidia-Social and Behavioral Sciences*, 121, 58-67.

邦文参考文献

- アルカラダーウィー(2005)「イスラームにおける合法(ハラール)と非合法(ハラーム)」抄訳 I、遠藤利夫訳、『シャリーア研究』2、159-183。
- アルカラダーウィー(2006)「イスラームにおける合法(ハラール)と非合法(ハラーム)」抄訳 II、遠藤利夫訳、『シャリーア研究』3、97-142。

- 阿良田麻里子(2014)「インドネシアにおける食のハラールの現状」『食品工業』57(5)、30-37。
- 伊藤文雄(2002)「インドネシアにおける『味の素ハラール事件』」『青山マネジメントレビュー』2、62-71。
- 北村歳治・吉田悦章(2008)『現代のイスラム金融』日経 BP 社。
- 黒田壽郎(1983)『イスラーム辞典』東京堂出版。
- 小林寧子(2001)「インドネシアの『味の素』騒動の顛末」『イスラム世界』57、63-75。
- 小久保瀬太郎・荒木恵美子・高島直樹・豊福肇・長坂豊道(2008)『食品の安全を創る HACCP』日本食品衛生協会。
- 富沢寿男(2014)「インドネシアの魚食文化と市場開拓」『養殖ビジネス』7、59-61。
- 中村廣治郎(1997)『イスラームと近代』岩波書店。
- 日本イスラム協会・嶋田襄平・板垣雄三・佐藤次高(2002)『新イスラム辞典』平凡社。
- 日本通運(2015)「ハラール物流への取り組み」農林水産省、
http://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokkyo/food_value_chain/pdf/list2_2.pdf (2015年5月1日取得)。
- 畑中美樹(2014)「改めて注目されそうなハラール認証の対象範囲」『中東協力センターニュース』39(2)、24-29。
- 福島康博(2014)「マレーシアのハラール認証にみるノン・ハラール要因の混入・接触と排除」『食のハラール』早稲田大学アジア・ムスリム研究所リサーチペーパー・シリーズ Vol.3、23-38。
- ブハーリー『ハディース上巻 イスラーム伝承集成』牧野信也訳、中央公論社、1993年。
- 八木久美子(2013)「イスラーム的に消費するということーハラール概念の変容とその意味」『総合文化研究』16、30-43。
- 『コーラン(上)』井筒俊彦訳、岩波書店、2009年。
- 『コーラン(下)』井筒俊彦訳、岩波書店、2009年。

参考 URL

- onislam, Aussies Buy Indonesia's Halal Certificates. 24 February 2014.
<http://www.onislam.net/english/news/asia-pacific/469573-aussies-buy-indonesias-halal-certificates.html> (2015年4月11日閲覧)
- The Halal Journal (2010). *The Halal Journal – May/June 2010*.
<http://issuu.com/the-halal-journal/docs/thj-mayjune2010>(2015年4月11日閲覧)
- The Halal Journal (2011). *The Halal Journal Apr-Jun 2011*.
<http://issuu.com/the-halal-journal/docs/thehalaljournal-apr-jun-2011>(2015年4月11日閲覧)

巻末資料：収集論文の一覧

英文文献一覧 (2015年3月31日時点)

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Leigh, P; Delany, M; National Library of Medicine.	1987	Use of 'thoracic stick' in halal slaughter of bobby calves.	New Zealand veterinary journal 35.8	124-125	自然科学	-	-	-	Proquest
Pryce-Jones, David.	1991	A Western Response to Halal Khashan	World Affairs 153.4	136	社会科学	その他	-	-	Proquest
Little, C; Gillespie, I; de Louvois, J; Mitchell, R; National Library of Medicine.	1999	Microbiological investigation of halal butchery products and butchers' premises.	Communicable disease and public health / PHLS 2.2	114-118	社会科学	食品	企業	ハラールへの取り組み状況の調査	Proquest
Anonymous.	2002	Halal meat newsletter from British Meat Food Service	Nutrition and Food Science 32.2/3	126	社会科学	食品	その他	-	Proquest
Eliasi, Jennifer R; Dwyer, Johanna T.	2002	Kosher and Halal: Religious observances affecting dietary intakes	American Dietetic Association. Journal of the American Dietetic Association 102.7	911-913	社会科学	食品	その他	-	Proquest, Siencedirect
James, Roberta.	2004	Introduction: Halal Pizza: Food and Culture in a Busy World1	The Australian Journal of Anthropology 15.1	1-11	社会科学	その他	-	-	Proquest
Nasir, Na'ilah Suad.	2004	"Halal-ing" the Child: Reframing Identities of Resistance in an Urban Muslim School	Harvard Educational Review 74.2	153-174	社会科学	その他	-	-	Proquest
Aida, A A; Che Man, Y B; Wong, C M V L; Raha, A R; Son, R; et al.	2005	Analysis of raw meats and fats of pigs using polymerase chain reaction for Halal authentication.	Meat science 69.1	47-52	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect
Fischer, Johan.	2005	Feeding Secularism: Consuming Halal among the Malays in London	Diaspora 14.2/3	275	社会科学	全般	その他	-	Proquest
Aida, Azmi A; Che Man, Yaakob B; Raha, Abdul R; Son, Radu.	2007	Detection of pig derivatives in food products for halal authentication by polymerase chain reaction -restriction fragment length polymorphism	Journal of the Science of Food and Agriculture 87.4	569	自然科学	-	-	-	Proquest
he chehabi.	2007	How Caviar Turned Out to Be Halal	Gastronomica 7.2	17-23	社会科学	食品	その他	-	Proquest
Karijn, Bonne; Vermeir, Iris; Bergeaud-Blackler, Florence; Verbeke, Wim.	2007	Determinants of halal meat consumption in France	British Food Journal 109.5	367-386	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Moll, Yasmin.	2007	"Beyond Beards, Scarves and Halal Meat": Mediated Constructions of British Muslim Identity	Journal of Religion and Popular Culture 15	1	社会科学	その他	-	-	Proquest
Che Man, Y.B. ; Aida, A.A. ; Raha, A.R. ; Son, R.	2007	Identification of pork derivatives in food products by species-specific polymerase	Food Control 18.7	885-889	自然科学	-	-	-	Siencedirect

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
		chain reaction (PCR) for halal verification							
Allam, Ahmed.	2008	Marketing of halal meat in the United Kingdom: Supermarkets versus local shops	British Food Journal 110.7	655-670	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Bonne, Karijn; Verbeke, Wim.	2008	Religious values informing halal meat production and the control and delivery of halal credence quality	Agriculture and Human Values 25.1	35	社会科学	食品	企業	サプライチェーン	Proquest
Bonne, Karijn; Verbeke, Wim; National Library of Medicine.	2008	Muslim consumer trust in halal meat status and control in Belgium.	Meat science 79.1	113-123	社会科学	食品	消費者	-	Proquest, Siencedirect
Gregory, Neville G; von Wenzlawowicz, Martin; Alam, Rashedul M; Anil, Haluk M; Yesildere, Tahsin; et al.	2008	False aneurysms in carotid arteries of cattle and water buffalo during shechita and halal slaughter.	Meat science 79.2	285-288	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect
Issa, Zuraini Mat; Hamdan, Haslenna; Muda, Wan Rohanizan Wan; Jusoff, Kamaruzaman.	2009	Practices of Food Producers in Producing Halal Food Products in Malaysia	Interdisciplinary Journal of Contemporary Research In Business 1.7	53-63	社会科学	食品	企業	ハラールへの取り組み状況の調査	Proquest
Murugaiah, Chandrika; Noor, Zainon Mohd; Mastakim, Maimunah; Bilung, Lesley Maurice; Selamat, Jinap; et al.	2009	Meat species identification and Halal authentication analysis using mitochondrial DNA.	Meat science 83.1	57-61	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect
Othman, Pazim; Sungkar, Irfan; Hussin, Wan Sabri Wan.	2009	Malaysia as an International Halal Food Hub: Competitiveness and Potential of Meat-based Industries	ASEAN Economic Bulletin 26.3	306-320	社会科学	食品	市場・制度	-	Proquest
Lada, Suddin ; Tanakinjal, Geoffrey Harvey ; Amin, Hanudin.	2009	Predicting intention to choose halal products using theory of reasoned action	International Journal of Islamic and Middle Eastern Finance and Management 2.1	66-76	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Ibrahim, Hifza Rahimah; Mokhtarudin, Mohd Zhafran Helmi.	2010	Fraudulent quality labelling: Case of halal labelling	China - USA Business Review 9.9	41	社会科学	食品	市場・制度	-	Proquest
Jonathan, A.J. Wilson; Liu, Jonathan.	2010	Shaping the Halal into a brand?	Journal of Islamic Marketing 1.2	107-123	社会科学	全般	企業	ハラールマーケティング	Proquest
Kamali, Mohammad Hashim.	2010	THE HALAL INDUSTRY FROM A SHARIAH PERSPECTIVE	Islam and Civilisational Renewal 1.4	595-612, 750	社会科学	金融	-	-	Proquest
Adams, Isiaka Abiodun.	2011	Globalization: Explaining the dynamics and challenges of the halal food surge	Intellectual Discourse 19.1	123-145	社会科学	食品	市場・制度	-	Proquest
Ayyub, Rana Muhammad;	2011	STATUS OF PAKISTANI HALAL MEAT	Interdisciplinary	1081-1092	社会科学	食品	その他	-	Proquest

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Bilal, Muhammad.		EXPORT AND FORECASTING ITS EXPORT REVENUE, IMPLICATIONS AND OPPORTUNITIES	Journal of Contemporary Research In Business 3.1						
Al-Azhari, Bai Bin Ibrahim Al-Hasani ; Chik, Wan Mohd Yusuf Bin Wan .	2011	Maqasid Sharciiyah According To Al-Qaradawi In The Book Al-Halal Wa Al-Haram Fi Al-Islam	International Journal of Business and Social Science 2.1	238-254	社会科学	その他	-	-	Proquest
Burki, Shireen Khan.	2011	Haram or Halal? Islamists' Use of Suicide Attacks as "Jihad"	Terrorism & Political Violence 23.4	582	社会科学	その他	-	-	Proquest
Campbell, Hugh; Murcott, Anne; Mackenzie, Angela.	2011	Kosher in New York City, halal in Aquitaine: challenging the relationship between neoliberalism and food auditing	Agriculture and Human Values 28.1	67-79	社会科学	その他	-	-	Proquest
Ireland, John; Soha Abdollah Rajabzadeh.	2011	UAE consumer concerns about halal products	Journal of Islamic Marketing 2.3	274-283	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Leal-Ramos, Martha Y; Alarcon-Rojo, Alma D; Mason, Timothy J; Paniwnyk, Larysa; Alarjah, Mohammed.	2011	Ultrasound-enhanced mass transfer in Halal compared with non-Halal chicken	Journal of the Science of Food and Agriculture 91.1	130	自然科学	-	-	-	Proquest
Nurjuliana, M; Che Man, Y B; Mat Hashim, D; Mohamed, A K S; National Library of Medicine.	2011	Rapid identification of pork for halal authentication using the electronic nose and gas chromatography mass spectrometer with headspace analyzer.	Meat science 88.4	638-644	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect
Nurjuliana, M; Man, Y B Che; Hashim, D Mat.	2011	Analysis of Lard's Aroma by an Electronic Nose for Rapid Halal Authentication	JAOCS, Journal of the American Oil Chemists' Society 88.1	75-82	自然科学	-	-	-	Proquest
Rahman, Asyraf Hj Ab; Ahmad, Wan Ibrahim Wan; Mohamad, Mohd Yusoff; Ismail, Zainab.	2011	Knowledge on Halal Food amongst Food Industry Entrepreneurs in Malaysia	Asian Social Science 7.12	216-221	社会科学	食品	企業	ハラールに対する意識調査	Proquest
Rajagopal, Shambavi; Ramanan, Sitalakshmi; Visvanathan, Ramanan; Satapathy, Subhadra.	2011	Halal certification: implication for marketers in UAE	Journal of Islamic Marketing 2.2	138-153	社会科学	全般	消費者	-	Proquest
Salman, Faryal, MBA, MS; Siddiqui, Kamran, MBA.	2011	An exploratory study for measuring consumers awareness and perceptions towards halal food in Pakistan	Interdisciplinary Journal of Contemporary Research In Business	639-652	社会科学	食品	消費者	-	Proquest

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
			3.2						
Alam, Syed Shah ; Sayuti, Nazura Mohamed.	2011	Applying the Theory of Planned Behavior (TPB) in halal food purchasing	International Journal of Commerce & Management 21.1	8-20	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Tieman, Marco.	2011	The application of Halal in supply chain management: in-depth interviews	Journal of Islamic Marketing 2.2	186-195	社会科学	食品	企業	サブライチェーン	Proquest
Wilson, Jon.	2011	The challenges of Islamic branding: navigating emotions and halal	Journal of Islamic Marketing 2.1	28-42	社会科学	全般	消費者	-	Proquest
Ali, M E; Hashim, U; Kashif, M; Mustafa, S; Che Man, Y B; et al.	2012	Development of swine-specific DNA markers for biosensor-based halal authentication.	Genetics and molecular research : GMR 11.2	1762-1772	自然科学	-	-	-	Proquest
Badrudin, Baizuri ; Mohamed, Zainalabidin ; Sharifuddin, Juwaidah ; Rezai, Golnaz; Abdullah, Amin Mahir ; et al.	2012	Clients' perception towards JAKIM service quality in Halal certification	Journal of Islamic Marketing 3.1	59-71	社会科学	食品	企業	ハラールに対する意識調査	Proquest
Siaw, Chon-Lok ; Rani, Nazatul Shima Abdul	2012	A Critical Review on the Regulatory and Legislation Challenges Faced by Halal Start-up SMEs Food Manufacturers in Malaysia	Procedia - Social and Behavioral Sciences 57	541-548	社会科学	食品	市場・制度	-	Sciencedirect
Demirhan, Yasemin; Ulca, Pelin; Senyuva, Hamide Z; National Library of Medicine.	2012	Detection of porcine DNA in gelatine and gelatine-containing processed food products-Halal/Kosher authentication.	Meat science 90.3	686-689	自然科学	-	-	-	Proquest, Sciencedirect
Fischer, Johan.	2012	Branding halal: A photographic essay on global Muslim markets (Respond to this article at)	Anthropology Today 28.4	18-21	社会科学	全般	その他	-	Proquest
Jorfi, Ramin; Mustafa, Shuhaimi; Man, Yaakob B Che; Hashim, Dzulkify B Mat; Sazili, Awis Q; et al.	2012	Differentiation of pork from beef, chicken, mutton and chevon according to their primary amino acids content for halal authentication	African Journal of Biotechnology 11.32	8160-8166	自然科学	-	-	-	Proquest
Lever, John; Miele, Mara.	2012	The Growth of Halal Meat Markets in Europe: An Exploration of the Supply Side Theory of Religion	Journal of Rural Studies 28.4	528-537	社会科学	食品	市場・制度	-	Proquest, Sciencedirect
Marranci, Gabriele.	2012	Defensive or offensive dining? Halal dining practices among Malay Muslim Singaporeans and their effects on integration	The Australian Journal of Anthropology 23.1	84	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Muatasim, Ismaeel; Blaim, Katharina.	2012	Toward applied Islamic business ethics: responsible halal business	The Journal of Management	1090-1100	社会科学	全般	企業	企業倫理	Proquest

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
			Development 31.1						
Mukhtar, Arshia; Muhammad Mohsin Butt.	2012	Intention to choose Halal products: the role of religiosity	Journal of Islamic Marketing 3.2	108-120	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Mutsikiwa, Munyaradzi; Basera, Clay Hutama.	2012	The Influence of Socio-cultural Variables on Consumers' Perception of Halal Food Products: A Case of Masvingo Urban, Zimbabwe	International Journal of Business and Management 7.2	112-119	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Nakyinsige, Khadijah; Man, Yaakob Bin Che; Sazili, Awis Qurni; National Library of Medicine.	2012	Halal authenticity issues in meat and meat products.	Meat science 91.3	207-214	社会科学	食品	市場・制度	-	Proquest
Ramli, Noriah; Salleh, Faqihah; Azmi, Saiful Nizam.	2012	Halal pharmaceuticals:A review on malaysian standard, ms 2424:2012 (p)	Journal of Arts and Humanities 1.1	137-142	社会科学	医薬品	市場・制度	-	Proquest
Rezai, Golnaz; Zainalabidin Mohamed; Mad Nasir Shamsudin.	2012	Non-Muslim consumers' understanding of Halal principles in Malaysia	Journal of Islamic Marketing 3.1	35-46	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Kamaruddin, Rohana ; Iberahim, Hadijah ; Shabudin, Alwi	2012	Willingness to Pay for Halal Logistics: The Lifestyle Choice	Procedia – Social and Behavioral Sciences 50	722-729	社会科学	全般	消費者	-	Siencedirect
Rohman, A; Man, Y B Che.	2012	Analysis of Pig Derivatives for Halal Authentication Studies	Food Reviews International 28.1	97	自然科学	-	-	-	Proquest
Saha, Anamik.	2012	'Beards, scarves, halal meat, terrorists, forced marriage': television industries and the production of 'race'	Media, Culture & Society 34.4	424	社会科学	その他	-	-	Proquest
Marzuki, Sharifah Zannierah Syed ; Hall, Collin Michael; Ballantine, Paul William.	2012	Restaurant managers' perspectives on halal certification	Journal of Islamic Marketing 3.1	47-58	社会科学	全般	企業	ハラールに対する意識調査	Proquest
Tieman, Marco; Jack G.A.J. van der Vorst; Maznah Che Ghazali.	2012	Principles in halal supply chain management	Journal of Islamic Marketing 3.3	217-243	社会科学	食品	企業	サプライチェーン	Proquest
Wan Norhana, M N; Dykes, G A; Padilah, B; Ahmad Hazizi, A A; Masazurah, A R; et al.	2012	Determination of quarantine period in African catfish (Clarias gariepinus) fed with pig (Sus sp.) offal to assure compliance with halal standards.	Food chemistry 135.3	1268-1272	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect
Xu, L; Cai, C B; Cui, H F; Ye, Z H; Yu, X P; et al.	2012	Rapid discrimination of pork in Halal and non-Halal Chinese ham sausages by Fourier transform infrared (FTIR) spectroscopy and chemometrics.	Meat science 92.4	506-510	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect
Abdul, Mohani; Ismail,	2013	Halal Food Certification: Case of Malaysian	China – USA Business	163-173	社会科学	食品	企業	ハラールに対	Proquest

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Hashanah; Mustapha, Mazlina.		SME Entrepreneurs	Review 12.2					する意識調査	
Abdul, Mohani; Ismail, Hashanah; Mustapha, Mazlina; Kusuma, Hadri.	2013	Indonesian small medium enterprises (SMEs) and perceptions on Halal food certification	African Journal of Business Management 7.16	1492	社会科学	食品	企業	ハラールに対する意識調査	Proquest
Abdul-Talib, Asmat-Nizam; Abd-Razak, Ili-Salsabila.	2013	Cultivating export market oriented behavior in halal marketing	Journal of Islamic Marketing 4.2	187-197	社会科学	全般	企業	ハラールマーケティング	Proquest
Ahmad, Maisarah; Kadir, Suhaila Abdul; Salehuddin, Nurul Azida.	2013	Perceptions and Behavior's of Muslims and Non-Muslims towards Halal Products	Journal of Social and Development Sciences 4.6	249-257	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Ambali, Abdul Raufu; Bakar, Ahmad Naqiyuddin.	2013	Halal food and products in Malaysia: People's awareness and policy implications	Intellectual Discourse 21.1	7-32	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Borzooei, Mahdi; Asgari, Maryam.	2013	Establishing a Global Halal Hub: In-Depth Interviews	International Journal of Academic Research in Business and Social Sciences 3.1	169-181	社会科学	全般	市場・制度	-	Proquest
Borzooei, Mahdi; Asgari, Maryam.	2013	The Halal brand personality and its effect on purchase intention	Interdisciplinary Journal of Contemporary Research In Business 5.3	481-491	社会科学	全般	消費者	-	Proquest
Ratanamaneichat, Chiratus ; Rakkam, Sakchai	2013	Quality Assurance Development of Halal Food Products for Export to Indonesia	Procedia - Social and Behavioral Sciences 88	134-141	社会科学	食品	市場・制度	-	Siencedirect
Farouk, Mustafa M; National Library of Medicine.	2013	Advances in the industrial production of halal and kosher red meat.	Meat science 95.4	805-820	自然科学	-	-	-	Proquest
Hassan, Siti Hasnah; Hamdan, Haslenna.	2013	Experience of Non-Muslim Consumers on Halal as Third Party Certification Mark in Malaysia	Asian Social Science 9.15	263-271	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Hayat, Raphie; Den Butter, Frank; Kock, Udo.	2013	Halal Certification for Financial Products: A Transaction Cost Perspective	Journal of Business Ethics 117.3	601-613	社会科学	金融	-	-	Proquest
Islam, Tajamul; Chandrasekaran, Uma.	2013	HALAL MARKETING: GROWING THE PIE	International Journal of Management Research and Reviews 3.12	3938-3948	社会科学	全般	その他	-	Proquest
Manzouri, Malihe; Ab Rahman, Mohd Nizam; Nizaroyani Saibani; Che Rosmawati Che Mohd Zain.	2013	Lean supply chain practices in the Halal food	International Journal of Lean Six Sigma 4.4	389-408	社会科学	食品	企業	サプライチェーン	Proquest

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Butt, Muhammad Mohsin ; Aftab, Muhammad.	2013	Incorporating attitude towards Halal banking in an integrated service quality, satisfaction, trust and loyalty model in online Islamic banking context	The International Journal of Bank Marketing 31.1	6-23	社会科学	金融	-	-	Proquest
Rahim, Norafni Farlina; Shafii, Zurina; Shahwan, Syahidawati.	2013	Awareness and Perception of Muslim Consumers on Non-Food Halal Product	Journal of Social and Development Sciences 4.1	478-487	社会科学	全般	消費者	-	Proquest
Razalli, Mohd Rizal; Yusoff, Rushami Zein; Roslan, Maizatul Wahidar Mohd.	2013	A Framework of Halal Certification Practices for Hotel Industry	Asian Social Science 9.11	316-326	社会科学	全般	企業	ハラールへの 取り組み状況 の調査	Proquest
Rudnycky, Daromir.	2013	From Wall Street to Halal Street: Malaysia and the Globalization of Islamic Finance	The Journal of Asian Studies 72.4	831-848	社会科学	金融	-	-	Proquest
Sadeeqa, Saleha; Sarriff, Azmi; Masood, Imran; Farooqi, Maryam; Atif, Muhammad.	2013	Evaluation of knowledge, attitude, and perception regarding Halal pharmaceuticals, among general medical practitioners in Malaysia	Archives of Pharmacy Practice 4.4	139-146	社会科学	医薬品	企業	ハラールに対 する意識調査	Proquest
Sarriff, Azmi; Abdul Razzaq, Hadeer Akram; National Library of Medicine.	2013	Exploring the halal status of cardiovascular, endocrine, and respiratory group of medications.	The Malaysian journal of medical sciences : MJMS 20.1	69-75	社会科学	医薬品	その他	-	Proquest
Shaari, Jamal Abdul Nassir; Khalique, Muhammad; Malek, Nurul Izza Abdul.	2013	Halal Restaurant: Lifestyle of Muslims in Penang	International Journal of Global Business 6.2	1-15	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Tieman, Marco; Maznah Che Ghazali.	2013	Principles in halal purchasing	Journal of Islamic Marketing 4.3	281-293	社会科学	食品	企業	サプライチェ ーン	Proquest
Tieman, Marco; Maznah Che Ghazali; Jack G.A.J. van der Vorst.	2013	Consumer perception on halal meat logistics	British Food Journal 115.8	1112-1129	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Ulca, Pelin; Balta, Handan; Çağın, İlknur; Senyuva, Hamide Z; National Library of Medicine.	2013	Meat species identification and Halal authentication using PCR analysis of raw and cooked traditional Turkish foods.	Meat science 94.3	280-284	自然科学	-	-	-	Proquest, Sciencedirect
Verbeke, Wim; Rutsaert, Pieter; Bonne, Karlijn; Vermeir, Iris; National Library of Medicine.	2013	Credence quality coordination and consumers' willingness-to-pay for certified halal labelled meat.	Meat science 95.4	790-797	社会科学	食品	消費者	-	Proquest, Sciencedirect
von Bargaen, Christoph; Dojahn, Jörg; Waidelich, Dietmar; Humpf, Hans-Ulrich; Brockmeyer,	2013	New sensitive high-performance liquid chromatography-tandem mass spectrometry method for the detection of horse and pork in halal beef.	Journal of agricultural and food chemistry 61.49	11986-11 994	自然科学	-	-	-	Proquest

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Jens; et al.									
Wright, Wynne ; Annes, Alexis	2013	Halal on the menu?: Contested food politics and French identity in fast-food	Journal of Rural Studies 32	388-399	社会科学	その他	-	-	Siencedirect
Ngah, Abdul Hafaz ; Zainuddin, Yuserri ; Thurasamy, Ramayah	2014	Adoption of Halal Supply Chain among Malaysian Halal Manufacturers: An Exploratory Study	Procedia – Social and Behavioral Sciences 129	388-395	社会科学	食品	企業	サプライチェーン	Siencedirect
Abdul Hamid, Abu Bakar; Ab Talib, Mohamed Syazwan; Mohamad, Nazliwati.	2014	Halal logistics: A marketing mix perspective	Intellectual Discourse 22.2	191-214	社会科学	全般	企業	サプライチェーン	Proquest
Ambali, Abdul Raufu ; Bakar, Ahmad Naqiyuddin	2014	People's Awareness on Halal Foods and Products: Potential Issues for Policy-makers	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	3-25	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Abidin, Zurina Zainal; Omar, Fatin Nordalila; Yogarajah, Pavithiran; Biak, Dayang Radiah Awang; Man, Yaakob Bin Che.	2014	DIELECTRIC CHARACTERIZATION OF LIQUID CONTAINING LOW ALCOHOLIC CONTENT FOR POTENTIAL HALAL AUTHENTICATION IN THE 0.5-50 GHz RANGE	American Journal of Applied Sciences 11.7	1104-1112	自然科学	-	-	-	Proquest
Khalek, Aiedah Abdul	2014	Young Consumers' Attitude towards Halal Food Outlets and JAKIM's Halal Certification in Malaysia	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	26-34	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Sulaiman, Alawi ; Othman, Nasuddin ; Baharuddin, Azhari Samsu ; Mokhtar, Mohd Noriznan ; Tabatabaei, Meisam	2014	Enhancing the Halal Food Industry by Utilizing Food Wastes to Produce Value-added Bioproducts	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	35-43	社会科学	その他	-	-	Siencedirect
Ali, Dhakir Abbas; Johari, Fuadah; Alias, Mohammad Haji.	2014	Tracing the J-Curve Effect in Halal and non-Halal Beverages Industry in Malaysia	Asian Social Science 10.13	222-230	社会科学	食品	その他	-	Proquest
Hashim, Azreen Jihan bt Che Mohd ; Musa, Rosidah	2014	Factors Influencing Attitude towards Halal Cosmetic among Young Adult Urban Muslim Women: A Focus Group Analysis	Procedia – Social and Behavioral Sciences 130	129-134	社会科学	化粧品	消費者	-	Siencedirect
Cherroud, Sanâa; Cachaldora, Aida; Fonseca, Sonia; Laglaoui, Amin; Carballo, Javier; et al.	2014	Microbiological and physicochemical characterization of dry-cured Halal goat meat. Effect of salting time and addition of olive oil and paprika covering.	Meat science 98.2	129-134	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect
Farouk, M M; Al-Mazeedi, H M; Sabow, A B; Bekhit, A E D; Adeyemi, K D; et al.	2014	Halal and kosher slaughter methods and meat quality: a review.	Meat science 98.3	505-519	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Halim, Mustafa 'Afifi Ab; Ahmad, Azlin Alisa.	2014	Enforcement of Consumer Protection Laws on Halal Products: Malaysian Experience	Asian Social Science 10.3	9-14	社会科学	食品	市場・ 制度	-	Proquest
Halkias, Daphne; Pizzurno, Emanuele; De Massis, Alfredo; Fragoudakis, Mirka.	2014	HALAL PRODUCTS AND SERVICES IN THE ITALIAN TOURISM AND HOSPITALITY INDUSTRY: BRIEF CASE STUDIES OF ENTREPRENEURSHIP AND INNOVATION	Journal of Developmental Entrepreneurship 19.2	1	社会科学	観光	市場制 度	-	Proquest
Tama, Harrisson Amat ; Voon, Boo Ho	2014	Components of Customer Emotional Experience with Halal Food Establishments	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	272-280	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Hanum, Haslizatul Mohamed ; Bakar, Zainab Abu ; Rahman, Nurazzah Abdul ; Rosli, Marshima Mohd ; Musa, Norzilah	2014	Using Topic Analysis for Querying Halal Information on Malay Documents	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	214-222	社会科学	その他	-	-	Siencedirect
Tarmizi, Hazwani Ahmad ; Kamarulzaman, Nitty Hirawaty ; Latiff, Ismail Abd ; Rahman, Azmawani Abd	2014	Factors Influencing Readiness towards Halal Logistics among Food-based Logistics Players in Malaysia	UMK Procedia 1	42-49	社会科学	全般	企業	サプライチェ ーン	Siencedirect
Lassoued, Imen ; Jridi, Mourad ; Nasri, Rim ; Dammak, Aicha ; Hajji, Mohamed ; Nasri, Moncef ; Barkia, Ahmed	2014	Characteristics and functional properties of gelatin from thornback ray skin obtained by pepsin-aided process in comparison with commercial halal bovine gelatin	Food Hydrocolloids 41	309-318	自然科学	-	-	-	Siencedirect
Kalantari Shahijan, Milad; Rezaei, Sajad; Nigel Preece, Christopher; Khairuzzaman Wan Ismail, Wan.	2014	Examining retailers' behaviour in managing critical points in Halal meat handling: a PLS analysis	Journal of Islamic Marketing 5.3	472-446	社会科学	食品	企業	ハラールに対 する意識調査	Proquest
Karrebaek, Martha Sif.	2014	Rye bread and halal: Enregisterment of food practices in the primary classroom	Language & Communication 34	17	社会科学	その他	-	-	Proquest, Siencedirect
Kuswandi, Bambang; Irmawati, Titi; Hidayat, Moch Amrun; Jayus; Ahmad, Musa; et al.	2014	A simple visual ethanol biosensor based on alcohol oxidase immobilized onto polyaniline film for halal verification of fermented beverage samples.	Sensors (Basel, Switzerland) 14.2	2135-2149	自然科学	-	-	-	Proquest
Abdelsamie, Maher A.A. ; Rahman, Russly Abdul ; Mustafa, Shuhaimi	2014	Pyramid Shape Power as a New Halal-compliant Food Preservation and Packaging Technique	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	232-242	自然科学	-	-	-	Siencedirect
Said, Mahiah ; Hassan, Faridah ; Musa, Rosidah ;	2014	Assessing Consumers' Perception, Knowledge and Religiosity on Malaysia's	Procedia – Social and Behavioral Sciences	120-128	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Rahman, N.A.		Halal Food Products	130						
Tieman, Marco ; Ghazali, Maznah Che	2014	Halal Control Activities and Assurance Activities in Halal Food Logistics	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	44-57	社会科学	食品	企業	サプライチェーン	Siencedirect
Jaffar, Mariatul Aida ; Musa, Rosidah	2014	Determinants of Attitude towards Islamic Financing among Halal-certified Micro and SMEs: A Preliminary Investigation	Procedia – Social and Behavioral Sciences 130	135-144	社会科学	金融	-	-	Siencedirect
Zulfakar, Mohd Hafiz ; Anuar, Marhani Mohamed ; Talib, Mohamed Syazwan Ab	2014	Conceptual Framework on Halal Food Supply Chain Integrity Enhancement	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	58-67	社会科学	食品	企業	サプライチェーン	Siencedirect
Muhamed, Nurul Aini; Ramli, Nathasa Mazna; Aziz, Sumaiyah Abd; Yaakub, Nor Asiah.	2014	Integrating Islamic Financing and Halal Industry: A Survey on Current Practices of the Selected Malaysian Authority Bodies	Asian Social Science 10.17	120-126	社会科学	金融	-	-	Proquest
Mukherjee, S Romi.	2014	Global Halal: Meat, Money, and Religion	Religions 5.1	22-75	社会科学	食品	その他	-	Proquest
Halim, Mustafa `Afifi bin Ab. ; Mohd, Kamilah Wati binti ; Salleh, Mohd Mahyeddin Mohd ; Yalawae, Asming ; Omar, Tuan Syed Mohd Najib Syed ; Ahmad, Asmidah ; Ahmad, Azlin Alisa binti ; Kashim, Mohd Izhar Ariff bin Mohd	2014	Consumer Protection of Halal Products in Malaysia: A Literature Highlight	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	68-78	社会科学	食品	市場・制度	-	Siencedirect
Nakyinsige, K; Fatimah, A B; Aghwan, Z A; Zulkifli, I; Goh, Y M; et al.	2014	Bleeding Efficiency and Meat Oxidative Stability and Microbiological Quality of New Zealand White Rabbits Subjected to Halal Slaughter without Stunning and Gas Stun-killing.	Asian-Australasian journal of animal sciences 27.3	406-413	自然科学	-	-	-	Proquest
Nakyinsige, K; Sazili, A Q; Zulkifli, I; Goh, Y M; Abu Bakar, F; et al.	2014	Influence of gas stunning and halal slaughter (no stunning) on rabbits welfare indicators and meat quality.	Meat science 98.4	701-708	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect
Aziz, Noorizan Abd. ; Majdina, Hani ; Hassan, Yahaya ; Zulkifly, Hanis Hanum ; Wahab, Mohd Shahezwan Abd ; Aziz, Mohd Sallehudin Abd ; Yahaya, Noorfatimah ; Razzaq,	2014	Assessment of the Halal Status of Respiratory Pharmaceutical Products in a Hospital	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	158-165	社会科学	医薬品	その他	-	Siencedirect

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Hadeer Akram Abdul									
Mohtar, Nor Marini ; Amirordin, Nur Alia ; Haron, Hazliza	2014	Ayamas Food Corporation Sdn. Bhd: A Study on the Factors of Consumer Behaviour towards Halal Product Selection	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	166-185	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Yunus, Nor Sara Nadia Muhamad ; Rashid, Wan Edura Wan ; Ariffin, Norafifa Mohd ; Rashid, Norhidayah Mohd	2014	Muslim's Purchase Intention towards Non-Muslim's Halal Packaged Food Manufacturer	Procedia – Social and Behavioral Sciences 130	145-154	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Aziz, Norazlina Abdul ; Ibrahim, Irini ; Raof, Nurazlina Abdul	2014	The Need for Legal Intervention within the Halal Pharmaceutical Industry	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	124-132	社会科学	医薬品	市場・ 制度	-	Siencedirect
Aziz, Norazlina Abdul ; Sulaiman, Siti Sarah	2014	Role of the Local Authority in Issuing License for Halal Certified Premise in the City of Shah Alam	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	133-143	社会科学	食品	市場・ 制度	-	Siencedirect
Kassim, Norrahimah ; Hashim, Puziah ; Hashim, Dzulkifly Mat ; Jol, Hamdan	2014	New Approach of Samak Clay Usage for Halal Industry Requirement	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	186-192	社会科学	その他	-	-	Siencedirect
Noordin, Nurulhuda ; Noor, Nor Laila Md ; Samicho, Zainal	2014	Strategic Approach to Halal Certification System: An Ecosystem Perspective	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	79-95	社会科学	食品	市場・ 制度	-	Siencedirect
Yunos, Rahimah Mohamed ; Mahmood, Che Faridah Che ; Mansor, Nor Hafizah Abd	2014	Understanding Mechanisms to Promote Halal Industry–The Stakeholders' Views	Procedia – Social and Behavioral Sciences 130	160-166	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Ibrahim, S. ; Othman, M.	2014	Developing and Validating Halal Service Quality Instrument for Malaysian Food Service Establishments: A Conceptual Paper	Procedia – Social and Behavioral Sciences 130	400-408	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Samori, Zakiah; Ishak, Amal Hayati; Kassan, Nurul Himmah.	2014	Understanding the Development of Halal Food Standard: Suggestion for Future Research	International Journal of Social Science and Humanity 4.6	482-486	社会科学	食品	市場・ 制度	-	Proquest
Bakar, Saridan Abu ; Sulaiman, Mohamed ; Osman, Intan	2014	Exploring the Relationship between Business Factors and Performance in the Malaysian Halal Biotechnology SMEs Context	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	243-252	社会科学	その他	-	-	Siencedirect
Shariff, Sariwati Mohd ; Lah, Nurul Akma Abd	2014	Halal Certification on Chocolate Products: A Case Study	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	104-112	社会科学	食品	市場・ 制度	-	Siencedirect

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Shaari, Jamal Abdul Nassir; Khalique, Muhammad; Aleefah, Fahdlina.	2014	Halal Restaurant: What Makes Muslim In Kuching Confident?	Journal of Economic Development, Management, I T, Finance, and Marketing 6.1	23-34	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Marzuki, Sharifah Zannierah Syed ; Hall, Colin Michael ; Ballantine, Paul William	2014	Measurement of Restaurant Manager Expectations toward Halal Certification Using Factor and Cluster Analysis	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	291-303	社会科学	食品	企業	ハラールに対する意識調査	Siencedirect
Yusof, Shazlinda Md ; Shutto, Noriyuki	2014	The Development of Halal Food Market in Japan: An Exploratory Study	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	253-261	社会科学	その他	-	-	Siencedirect
Syazwan Ab Talib, Mohamed; Bakar Abdul Hamid, Abu.	2014	Halal logistics in Malaysia: a SWOT analysis	Journal of Islamic Marketing 5.3	343-322	社会科学	全般	企業	サプライチェーン	Proquest
Alqudsi, Syed Ghazaly	2014	Awareness and Demand for 100% Halal Supply Chain Meat Products	Procedia – Social and Behavioral Sciences 130	167-178	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Talib, Mohamed Syazwan Ab; Hamid, Abu Bakar Abdul; Zulfakar, Mohd Hafiz; Jeeva, Ananda S.	2014	Halal Logistics PEST Analysis: The Malaysia Perspectives	Asian Social Science 10.14	119-131	社会科学	全般	企業	サプライチェーン	Proquest
Mathew, Vloreen Nity ; Abdullah, Ardiana Mazwa Raudah binti Amir ; Ismail, Siti Nurazizah binti Mohamad	2014	Acceptance on Halal Food among Non-Muslim Consumers	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	262-271	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Wu, Ying; Yang, Yiyin; Chiu, Chi-yue.	2014	Responses to religious norm defection: The case of Hui Chinese Muslims not following the halal diet	International Journal of Intercultural Relations : IJIR 39	1	社会科学	その他	-	-	Proquest, Siencedirect
Rahman, Zainor Nasrah Abdul ; Manan, Siti Khadijah Ab	2014	Tawarruq as a Useful Instrument to Finance Retail the Halal Way	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	281-290	社会科学	金融	-	-	Siencedirect
Samori, Zakiah ; Sabtu, Noorsalwati	2014	Developing Halal Standard for Malaysian Hotel Industry: An Exploratory Study	Procedia – Social and Behavioral Sciences 121	144-157	社会科学	全般	市場・制度	-	Siencedirect
Ab Talib, Mohamed Syazwan; Abdul Hamid, Abu Bakar; Zulfakar, Mohd Hafiz.	2015	Halal supply chain critical success factors: a literature review	Journal of Islamic Marketing 6.1	71-44	社会科学	全般	企業	サプライチェーン	Proquest
Abd Rahman, Azmawani;	2015	Consumers and Halal cosmetic products:	Journal of Islamic	163-148	社会科学	化粧品	消費者	-	Proquest

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Asrarhaghighi, Ebrahim; Ab Rahman, Suhaimi.		knowledge, religiosity, attitude and intention	Marketing 6.1						
Ahmad, Ahlam Nuwairah; Rahman, Azmawani Abd; Rahman, Suhaimi Ab.	2015	Assessing Knowledge and Religiosity on Consumer Behavior towards Halal Food and Cosmetic Products	International Journal of Social Science and Humanity 5.1	10-14	社会科学	全般	消費者	-	Proquest
Aoun, Isabelle; Tourmois, Laurent.	2015	Building holistic brands: an exploratory study of Halal cosmetics	Journal of Islamic Marketing 6.1	132-109	社会科学	化粧品	企業	ハラールマーケティング	Proquest
Zaina, Che Rosmawati Che Mohd ; Rahmanb, Suhaimi Ab ; Ishanc, Zahira Mohd. ; Azizd, Shamrahayu Ab	2015	Jurisdiction and Prosecution of Halal Related Matters in Malaysia: Challenges and Prospects	Procedia – Social and Behavioral Sciences 172	294-300	社会科学	全般	市場・制度	-	Siencedirect
Ismoyowati, Dyah	2015	Halal Food Marketing: A Case Study on Consumer Behavior of Chicken-based Processed Food Consumption in Central Part of Java, Indonesia	Agriculture and Agricultural Science Procedia 3	169-172	社会科学	食品	消費者	-	Siencedirect
Haque, Ahasanul; Sarwar, Abdullah; Yasmin, Farzana; Tarofder, Arun Kumar; Hossain, Mirza Ahsanul.	2015	Non-Muslim consumers' perception toward purchasing halal food products in Malaysia	Journal of Islamic Marketing 6.1	147-133	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Shabani, Hessam ; Mehdizadeh, Mehrangiz ; Mousavi, Seyed Mohammad ; Dezfouli, Ehsan Ansari ; Solgi, Tara ; Khodaverdi, Mahdi ; Rabiei, Maryam ; Rastegar, Hossein ; Alebouyeh, Mahmoud	2015	Halal authenticity of gelatin using species-specific PCR	Food Chemistry, In Press, Accepted Manuscript, Available online -	-	自然科学	-	-	-	Siencedirect
Jamal, Ahmad; Sharifuddin, Juwaidah.	2015	Perceived value and perceived usefulness of halal labeling: The role of religion and culture	Journal of Business Research 68.5	933	社会科学	全般	消費者	-	Proquest, Siencedirect
Khalek, Aiedah Abdul; Ismail, Sharifah Hayaati Syed.	2015	Why Are We Eating Halal – Using the Theory of Planned Behavior in Predicting Halal Food Consumption among Generation Y in Malaysia	International Journal of Social Science and Humanity 5.7	608-612	社会科学	食品	消費者	-	Proquest
Sabow, A B; Sazili, A Q; Zulkifli, I; Goh, Y M; Ab Kadir, M Z A; et al.	2015	A comparison of bleeding efficiency, microbiological quality and lipid oxidation in goats subjected to conscious halal slaughter and slaughter following minimal anesthesia.	Meat science 104	78-84	自然科学	-	-	-	Proquest, Siencedirect

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	自然科学／ 社会科学	領域	対象	内容	検索エンジン
Mutalib, Sahilah Abd ; Muin, Nursheila Mustafa ; Abdullah, Aminah ; Hassan, Osman ; Mustapha, Wan Aida Wan ; Sani, Norrakiah Abdullah ; Maskat, Mohd Yusof	2015	Sensitivity of polymerase chain reaction (PCR)-southern hybridization and conventional PCR analysis for Halal authentication of gelatin capsules	LWT – Food Science and Technology, In Press, Corrected Proof, Available online -	-	自然科学	-	-	-	Siencedirect
Tieman, Marco.	2015	Halal clusters	Journal of Islamic Marketing 6.1	2-21	社会科学	食品	企業	サブライチエ ーン	Proquest

※頁数の数字が1つの場合は最初のページを示している

邦文文献一覧 (2015年3月31日時点)

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
樋口直人,丹野清人,樋口里華	1998	越境する食文化と移民ネットワーク--在日ムスリム移民の増加とハラール食品産業の展開	食生活研究 19(3)	4-12	食品	市場・制度	-	CINII Article
樋口直人,丹野清人	1999	ハラール食品産業の研究--日本におけるイスラム食文化の定着	食文化助成研究の報告 (9)	53-59	食品	市場・制度	-	CINII Article
ZubairMohammad	2000	イスラムの食文化 ハラール食品とスパイスの効用--美容や心臓病・糖尿病にも	サイアス 5(4)	60-62	食品	その他	-	CINII Article
樋口直人,丹野清人	2000	食文化の越境とハラール食品産業の形成：在日ムスリム移民を事例として	徳島大学社会科学 月刊フードケミカル 17(9)	99-131	食品	市場・制度	-	CINII Article
和田裕司	2001	ハラール(Halal)対応香料の開発 (特集 フレーバーアドバンテージ(2))	食品と開発 38(11)	26-29	食品	企業	その他	CINII Article
伊藤文雄	2002	インドネシアにおける「味の素ハラール事件」(〈特集〉グローバル マネジメント)	青山マネジメントレビュー 2	62-71	食品	企業	その他	CINII Article
-	2003	海外開発トピックス ハラル食品の製造	パキスタン (189)	77-79	食品	その他	-	CINII Article
-	2003	日本の中のパキスタン(5)ハラール・フード・ショップ	パキスタン (189)	22-24	食品	その他	-	CINII Article
武藤英臣	2004	イスラーム世界事情 インドネシアのハラール認証	シャリイア研究 (1)	161-186	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2005	国際基準を満たしたハラール食品の普及を目指すマレーシア (アジア地域における ISO/HACCP 等食品規格の普及状況)	海外の食品産業 (249)	6-8	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2005	2004年11月「ハラール・セミナー」講演記録	シャリイア研究 (2)	309-373	食品	市場・制度	-	CINII Article
武藤英臣	2005	イスラーム世界事情 ハラール製品--イスラーム圏市場理解の為	シャリイア研究 (2)	265-308	全般	市場・制度	-	CINII Article
Al-Qaradawi,遠藤利夫[訳]	2005	翻訳 イスラームにおける合法(ハラール)と非合法(ハラーム)抄訳(1)	シャリイア研究 (2)	159-183	全般	その他	-	CINII Article
武藤英臣	2006	世界ハラール評議会第6回年次総会	シャリイア研究 (3)	205-223	全般	その他	-	CINII Article
Al-Qaradawi,遠藤利夫[訳]	2006	アルカラダーウィー著『イスラームにおける合法(ハラール)と非合法(ハラーム)』抄訳(2)	シャリイア研究 (3)	97-142	全般	その他	-	CINII Article
PowerCarla,GatsiounisIoannis	2007	RANKING イスラム教徒向け食品“ハラール”で売り上げを伸ばすネスレ (米フォーブス誌特選情報) -- (From USA)	フォーブス 16(7)	102-104	食品	企業	事業紹介	CINII Article
川端隆史	2008	グローバル・ハラール・マーケットへの挑戦：マレーシアにおけるイスラーム的政治経済学(パネル2「イスラームとマーケット」, 第79回研究大会報告)	東南アジア学会会報 (89)	25-26	全般	その他	-	CINII Article
岡部光利	2008	エリアレポート 世界のビジネス潮流を読む マレーシア ハラル商品でイスラム諸国とのビジネス拡大を狙う	ジェトロセンサー 58(695)	68-69	食品	市場・制度	-	CINII Article
笠間順子,堀文彦,近藤晴路[他]	2008	東南アジアのハラール産業 (特集 躍動する ASEAN・インド 多様性をチャンスに)	自治体国際化フォーラム 226	2-9	食品	市場・制度	-	CINII Article
佐々木勝憲,林義隆	2008	海外駐在員レポート『ハラール』で輸出拡大を模索するマレーシア家きん肉産業	畜産の情報 (225)	106-111	食品	市場・制度	-	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
井上知郁	2009	アグロトレンド タイ ハラル市場—日系食品企業の飛躍への正念場に	ジェットロセンサー 59(706)	32-33	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2009	食品のハラル制度と企業の対応	農業および園芸 84(8)	794-802	食品	市場・制度	-	CINII Article
深田智子	2009	世界の注目企業(051)マレーシア プリマアグリーハラル食品の成長企業	ジェットロセンサー 59(702)	32-33	食品	企業	事業紹介	CINII Article
並河良一	2009	ハラル規制・制度について—技術的側面に焦点を当てて	食品と容器 50(6)	362-366	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2010	化学品に広がりをもせるハラル制度	化学経済 57(11)	26-32	医薬品	市場・制度	-	CINII Article
富沢寿勇	2010	ハラル産業は世界を変えるか?—グローバル化に挑戦するイスラーム圏東南アジア	Field+ : フィールドプラス : 世界を感応する雑誌 / 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 [編] (4)	10	食品	市場・制度	-	CINII Article
久間嘉晴	2010	株式会社ヤクルト本社のハラル食品への取り組み (特集 巨大な未開拓市場—イスラム市場の開拓)	明日の食品産業 2010(4)	19-22	食品	企業	事業紹介	CINII Article
並河良一	2010	ハラル制度の概要と日本の食品産業の市場開拓戦略—制度の国際的な差異に着目して (特集 巨大な未開拓市場—イスラム市場の開拓)	明日の食品産業 2010(4)	5-11	食品	市場・制度	-	CINII Article
遠藤利夫	2010	インドネシアのハラル認証システム	シャリーア研究 (7)	85-200	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2010	海外技術情報 ハラルフードの基本と証明	食品と容器 51(7)	428-430	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2011	食品のハラル制度の技術的性格と対策	日本食品工学会誌 12(4)	137-146	食品	市場・制度	-	CINII Article
武井泉,森下翠恵	2011	東南アジアにおけるハラル市場(後編)	国際金融 (1230)	70-76	食品	市場・制度	-	CINII Article
武井泉,森下翠恵	2011	東南アジアにおけるハラル市場(中編)	国際金融 (1228)	80-85	食品	市場・制度	-	CINII Article
武藤英臣	2011	ハラルの考え方と認証について (特集 世界で活躍する日本の食品素材・添加物)	月刊フードケミカル 27(9)	40-44	食品	市場・制度	-	CINII Article
武井泉,森下翠恵	2011	東南アジアにおけるハラル市場(前編)	国際金融 (1226)	40-44	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2011	食品のハラル制度と自由貿易の関係 : マレーシアの事例	農林業問題研究 47(1)	154-159	食品	市場・制度	-	CINII Article
森下翠恵	2011	拡大するイスラム市場—ハラルをめぐる日本企業の可能性	スケッチ (258)	17-19	食品	市場・制度	-	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
-	2011	中東視野にアジア進出に動く日系企業--ハラール食品市場、マレーシア中心に拡大気配 (イスラムビジネスにチャンスあり!--近くて遠い11億人市場)	アジア・マーケットレビュー 23(8)	14-15	食品	市場・制度	-	CINII Article
亜洲奈みづほ	2011	発進、「ハラール」ビジネス-熱帯雨林の島・ボルネオから	青淵 (745)	25-27	食品	市場・制度	-	CINII Article
茂野綾美	2011	日系企業によるハラール市場開拓に向けて	NRI パブリックマネジメントレビュー 91	7-11	全般	市場・制度	-	CINII Article
武藤英臣	2011	翻訳 マレーシアのハラール規格	シャリーア研究 -(8)	91-143	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2011	ハラール制度の海外企業誘致効果--制度の貿易制限的な性格の反射効果	開発技術 17	19-27	食品	市場・制度	-	CINII Article
アクマル・アブ・ハッサン	2012	INTERVIEW 急速に高まる「ハラール認証」への関心と需要：一般的にハラールを食べられる環境に変われば、「潜在的なマーケット」が開けてくる!：マレーシア ハラル コーポレーション(株) 代表取締役 アクマル・アブ・ハッサン氏に聞く	鶏卵肉情報 42(23)	72-76	全般	市場・制度	-	CINII Article
福島康博	2012	マレーシアのイスラーム銀行におけるシャリーア・ボードの機能とメンバーシップ	異文化経営研究 (9)	17-31	金融		-	CINII Article
若林茂	2012	『ハラール Halal』取得のススメ：新興国市場への食品・素材・添加物輸出に向けて(第5回)社内のハラール化(ハラール体制の構築、ムスリムの雇用)について	月刊フードケミカル 28(12)	12-15	食品	市場・制度	-	CINII Article
松嶋慶祐	2012	九州・山口のハラールビジネス	九州経済調査月報 = Monthly bulletin of Kyushu economic research 66(803)	2-9	食品	企業	事業紹介	CINII Article
若林茂	2012	『ハラール Halal』取得のススメ：新興国市場への食品・素材・添加物輸出に向けて(第4回)食を通してイスラムを理解しよう(その2)	月刊フードケミカル 28(11)	12-15	食品	市場・制度	-	CINII Article
若林茂	2012	『ハラール Halal』取得のススメ：新興国市場への食品・素材・添加物輸出に向けて(第3回)食を通してイスラムを理解しよう(その1)	月刊フードケミカル 28(10)	12-15	全般	市場・制度	-	CINII Article
アクマル・アブ・ハッサン	2012	日本でも一般的にハラールを食べられる環境に変われば、巨大で可能性に満ちた「潜在的なマーケット」が開けてくる!：急速に高まる「ハラール認証」への関心と需要：マレーシア ハラル コーポレーション(株)代表取締役 アクマル・アブ・ハッサン氏に聞く (特集 グローバルスタンダードへの対応急ぐ日本の食品業界)	HACCP : Hazard analysis and critical control point 18(10)	43-47	全般	市場・制度	-	CINII Article
岡部光利	2012	マレーシア 食品輸出ではハラールに注意 (特集 流通構造から見る新興国市場攻略)	ジェトロセンサー 62(743)	18	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2012	ハラール市場がバイオテクノロジーに期待すること	生物工学会誌 : seibutsu-kogaku kaishi 90(9)	609	医薬品	市場・制度	-	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
若林茂	2012	『ハラール Halal』取得のススメ：新興国市場への食品・素材・添加物輸出に向けて(第2回)東南アジアでハラール認証が制度化された理由	月刊フードケミカル 28(9)	55-58	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2012	シンガポールから「ハラール」ビジネス市場の可能性(駐在員による海外レポート特集)	FFG 調査月報 (52)	28-31	全般	市場・制度	-	CINII Article
若林茂	2012	『ハラール Halal』取得のススメ：新興国市場への食品・素材・添加物輸出に向けて(第1回)ハラールとはなにか	月刊フードケミカル 28(8)	12-16	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2012	BIO BUSINESS 東南アジアの食品市場とハラール制度	Bio industry 29(8)	63-69	食品	市場・制度	-	CINII Article
井上順孝	2012	世界で働くための宗教入門(第20回)ハラームとハラール	週刊東洋経済 -(6398)	100-101	その他		-	CINII Article
錫村民生	2012	成長するアジアのハラール市場とは(特集 成長するアジアの食品市場)	食品と開発 47(4)	14-16	食品	市場・制度	-	CINII Article
多和田裕司	2012	イスラームと消費社会：現代マレーシアにおけるハラール認証	人文研究 63	69-85	食品	消費者	-	CINII Article
-	2012	クアラルンプール「マレーシア」外食にハラール(新年特集 キーワードで世界を巡る 2012年ビジネスのヒント60)--(アジア大洋州)	ジェトロセンサー 62(734)	12	食品	市場・制度	-	CINII Article
砂井紫里	2012	アジアにおける「ハラール科学」の発展とその社会・文化への影響：マレーシアにおけるハラールの規格化・科学・語りについての予備的調査	食生活科学・文化及び環境に関する研究助成研究紀要 27	49-59	食品	市場・制度	-	CINII Article
八木久美子	2012	イスラーム的に消費するということ：ハラール概念の変容とその意味(特集 時のパースペクティヴ)	総合文化研究 (16)	30-43	全般	その他	-	CINII Article
-	2012	海外技術情報 コーシャ(ユダヤ食)とハラール(イスラム食)	食品と容器 53(12)	762-764	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2013	拡大するロシアのハラール食品市場	ポストーク通信：ロシアの週刊経済情報誌 (1025)	2-3	食品	市場・制度	-	CINII Article
武井泉,森下翠恵	2013	イスラム教徒対応ビジネス(ハラールのインバウンドビジネス)の動向	国際金融 (1255)	63-67	食品	市場・制度	-	CINII Article
杉山維彦	2013	ハラール・フード・ビジネスの制度設計とASEAN 諸国からのインバウンドに関する考察	日本観光研究学会全国大会学術論文集 28	25-28	観光	市場・制度	-	CINII Article
小池純司	2013	ハラール市場へのエントリー戦略：受身的なハラール対応を超えたイスラム市場への本格参入の必要性	NRI パブリックマネジメントレビュー 125	1-6	食品	市場・制度	-	CINII Article
杉山維彦	2013	ASEAN 諸国を対象としたインバウンド観光におけるわが国の課題：ハラール・フード・ビジネスの展開と観光学の新しい地平を求めて(後篇)	国際観光情報	3-13	観光	市場・制度	-	CINII Article
佐久間朋宏	2013	ハラール食品の可能性とハラール認証の動向(特集 ハラール食品の	ジャパンフードサイ	51-59	食品	市場・	-	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
		可能性)	エンス 52(11)			制度		
大竹啓裕	2013	特集 ハラル対応を急げ：数億人規模の潜在市場が日本の未来を救う	先見経済 59(10)	3-9	観光	市場・制度	-	CINII Article
杉山維彦	2013	ASEAN 諸国を対象としたインバウンド観光におけるわが国の課題：ハラール・フード・ビジネスの展開と観光学の新しい地平を求めて(前篇)	国際観光情報	5-14	観光	企業	事業紹介	CINII Article
中坪央暁	2013	IDJ REPORT ハラル・ビジネスに商機あり：食品メーカー、ホテルなど相次ぎ認証取得	国際開発ジャーナル (683)	10-13	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2013	ハラル市場の動向と認証の概要(特集 グローバルスタンダードに準拠した FSMS の構築と運用：中小向け FSMS 解説と有効な内部監査、ハラル認証の近況)	HACCP：Hazard analysis and critical control point 19(10)	35-39	食品	市場・制度	-	CINII Article
福島康博	2013	専門家に聞く ハラル認証の基礎知識：マレーシアが進める認証の国際化(基礎から始めるムスリム対応策：国が誘致を後押し! 急速に高まるムスリムへの注目度)	月刊ホテル旅館 50(10)	125-127	観光	市場・制度	-	CINII Article
伊藤健	2013	業界の動向 ハラル認証とは	JAS 情報 48(8)	1-6	食品	市場・制度	-	CINII Article
小島宏	2013	日本・韓国・台湾のムスリム移動者におけるハラール食品消費行動の関連要因	早稲田社会科学総合研究 14(1)	1-22	食品	消費者	-	CINII Article
並河良一	2013	ハラル市場の将来展望と認証までのプロセス(最終回)成功事例とトラブル事例	食品と開発 48(7)	85-87	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2013	マレーシア 16 億人の「巨大ハラル市場」を狙え(特集 ASEAN が呼んでいる：あなたの会社にもチャンスあり)	日経トップライダー (346)	18-20	食品	企業	事業紹介	CINII Article
-	2013	インドネシア、ハラール食品認証ガイドラインを制定：世界基準統一の動きも本格化/イスラム圏最大市場への進出加速	Asia market review 25(10)	20-21	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2013	シンガポールから「ハラールビジネス」のマーケットと進め方(駐在員による海外リポート特集)	FFG 調査月報 (60)	38-43	全般	市場・制度	-	CINII Article
アクマルアブハッサン	2013	キーパーソン・インタビュー ハラルは全世界で通用する安全・安心の証：マレーシア ハラル コーポレーション株式会社 代表取締役 アクマル アブ ハッサン氏(成長するアジアを知る)	JMA マネジメント (15)	6-9	全般	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2013	ハラル市場の将来展望と認証までのプロセス(第 5 回)ハラール制度の国際比較	食品と開発 48(6)	62-64	食品	市場・制度	-	CINII Article
萩原新一	2013	トップに聞く! 日本初の海外ハラール認証をもとに、人吉・球磨からグローバル企業へ飛躍を。ゼンカIMIT株式会社 代表取締役 萩原新一氏：取引店/熊本銀行 人吉支店	FFG 調査月報 (59)	12-17,24	食品	企業	事業紹介	CINII Article
並河良一	2013	ハラル市場の将来展望と認証までのプロセス(第 4 回)ハラール市場の現状と今後	食品と開発 48(5)	78-80	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2013	ハラル市場の将来展望と認証までのプロセス(第 3 回)ハラール認証取得までのプロセス	食品と開発 48(4)	73-75	食品	市場・制度	-	CINII Article
八木久美子	2013	グローバル化時代のイスラムにおけるハラール概念の展開(第三部会,研究報告,第七十一回学術大会)	宗教研究 86(4)	940-941	全般	その他	-	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
並河良一	2013	ハラール市場の将来展望と認証までのプロセス(第2回)ハラール制度の内容	食品と開発 48(3)	89-91	食品	市場・制度	-	CINII Article
手島恵美	2013	話題の講演(工業部会) マレーシアにおけるハラール認証	Jactim 会報 (123)	50-52	全般	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2013	ハラール市場の将来展望と認証までのプロセス(第1回)ハラール制度の概要	食品と開発 48(2)	76-78	食品	市場・制度	-	CINII Article
若林茂	2013	『ハラール Halal』取得のススメ: 新興国市場への食品・素材・添加物輸出に向けて(第6回・最終回)彼を知り己を知れば百戦殆ふからず: 東南アジアのイスラム市場を知ろう	月刊フードケミカル 29(1)	22-26	その他	その他	-	CINII Article
武藤英臣[講師]	2013	日本でのハラール食品製造におけるイスラーム法の重要性 (イスラーム研究所創立 10 周年記念講演) -- (現代におけるイスラーム法の役割)	シャリーア研究 (10)	108-110	食品	市場・制度	-	CINII Article
砂井紫里	2013	アジアを食べる 食のハラールをめぐる多様な声と実践	ワセダアジアレビュー (14)	82-85	食品	消費者	-	CINII Article
伊藤健	2013	ハラール認証の要求事項(MS1500:2009)	食品の包装 = Packaging of foodstuff 45(1)	61-69	食品	市場・制度	-	CINII Article
嘉屋千春	2014	都市・街・人 2014(12)急増する東南アジアのムスリム観光客をおもてなし: 国内のハラール対応への取組み	不動産フォーラム 21 (296)	26-29	食品	市場・制度	-	CINII Article
安藤仁志	2014	ハラール化粧品ビジネスチャンス (特集 アジアを中心とした海外美容市場の動向とこれからの化粧品開発)	Cosmetic stage 9(2)	27-32	化粧品	市場・制度	-	CINII Article
森下翠恵	2014	注目のハラール産業: イスラム消費者へのアプローチ (特集 中東の光と影)	グローバル経営 (384)	16-19	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2014	やまぎんアジアニュース 香港駐在員事務所「ハラール認証」と「ムスリムフレンドリー」の違いについて	やまぐち経済月報 = Yamaguchi monthly report (475)	19-21	全般	市場・制度	-	CINII Article
三浦貴裕	2014	海外進出・販路拡大支援とハラールビジネスの可能性 (特集 収益力の強化: 新規融資の取組み強化: 海外進出支援)	リージョナルバンキング 64(11)	17-20	全般	市場・制度	-	CINII Article
清水俊樹	2014	ASEAN 市場進出に必要な金融支援とローカライズ: (株)インスパイアの取組 (ハラールビジネス)	九州経済調査月報 = Monthly bulletin of Kyushu economic research 68(830)	14-19	その他	その他	-	CINII Article
松嶋慶祐	2014	イスラムビジネスの動向と九州企業の可能性 (ハラールビジネス)	九州経済調査月報 = Monthly bulletin of Kyushu economic research 68(830)	2-13	食品	企業	事業紹介	CINII Article
加藤博	2014	海外 拓け! 水産物のハラール市場(第6回)エジプトを中心とした北アフリカの魚食事情	養殖ビジネス = Aqua culture business 51(12)	54-56	食品	市場・制度	-	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
-	2014	ホテル・レストラン関係者もハラール対応に高い関心：服部栄養専門学校が本格的な「ハラール・セミナー」開催（特集 新たなマーケットを切りひらく：生産者主体の販促活動やハラール市場の開拓）	畜産コンサルタント 50(11)	41-47	食品	市場・制度	-	CINII Article
川崎裕	2014	ハラールたまごの付加価値化と販路拡大につなげる：ハラールたまごの特徴とブランド戦略（特集 新たなマーケットを切りひらく：生産者主体の販促活動やハラール市場の開拓）	畜産コンサルタント 50(11)	38-40	食品	企業	事業紹介	CINII Article
濱田和保	2014	鶏肉の新たな需要を求めてハラール市場に取り組む：ハラール製品専用の加工場を建設、営業も本格化（特集 新たなマーケットを切りひらく：生産者主体の販促活動やハラール市場の開拓）	畜産コンサルタント 50(11)	35-37	食品	企業	事業紹介	CINII Article
HasanYetimAbdulatefAhmed, 本山三知代, 坂田亮一	2014	シャリア法に基づくハラール食肉生産の実際：期待される日本産ハラール食肉（特集 新たなマーケットを切りひらく：生産者主体の販促活動やハラール市場の開拓）	畜産コンサルタント 50(11)	30-34	食品	市場・制度	-	CINII Article
水島正, 見満周宜	2014	M&A の現場から インスパイア PNB パートナーズ 中堅・中小企業のマレーシアをはじめ ASEAN のイスラム市場展開を支援する日本初のハラールファンドを運営	MARR : Mergers & acquisitions research report (241)	85-87	その他	その他	-	CINII Article
井上敬明	2014	新しい事業(しごと)のつくり方 “ハラール” を理解し、おもてなしや産業振興につなげる	地方自治職員研修 47(11)	43-45	食品	企業	事業紹介	CINII Article
宇木俊晴	2014	タイ 第三国展開でもハラール活用（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）	ジェットロセンサー 64(767)	30	食品	市場・制度	-	CINII Article
李海昌	2014	韓国 対イスラム市場輸出拡大を官民で（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）	ジェットロセンサー 64(767)	29	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2014	ハラール化粧品がムスリムの心をつかむ：MYYUKI（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）--（企業事例）	ジェットロセンサー 64(767)	28	化粧品	企業	事業紹介	CINII Article
深澤武仁	2014	健康補助食品 サプリメントを東南アジアへ：アリメント工業（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）--（企業事例）	ジェットロセンサー 64(767)	27	食品	企業	事業紹介	CINII Article
-	2014	物流初の認証を：日本通運（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）--（企業事例）	ジェットロセンサー 64(767)	26	食品	企業	事業紹介	CINII Article
栗栖輝光	2014	アラブ首長国連邦 GSO 基準は改正へ（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）	ジェットロセンサー 64(767)	24-25	食品	市場・制度	-	CINII Article
米倉大輔	2014	サウジアラビア 日本食材にも好機（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）	ジェットロセンサー 64(767)	22-23	食品	市場・制度	-	CINII Article
春田麻里沙	2014	インドネシア 海外のハラール市場を狙う（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）	ジェットロセンサー 64(767)	20-21	食品	市場・制度	-	CINII Article
新田浩之, 志村英樹	2014	マレーシア ノンハラールにも商機あり（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）	ジェットロセンサー 64(767)	18-19	その他		-	CINII Article
田辺知樹, 籠瀬明佳	2014	二宮 訪日ムスリムをどう迎えるか（特集 ハラール：イスラム 16 億人市場を視野に）--（日本企業の取り組み）	ジェットロセンサー 64(767)	16-17	食品	企業	事業紹介	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
田辺知樹, 籠瀬明佳	2014	味の素 徹底した組織的対応を(特集 ハラル: イスラム 16 億人市場を視野に) -- (日本企業の取り組み)	ジェットロセンサー 64(767)	16	食品	企業	事業紹介	CINII Article
-	2014	ハラル認証の概要一覧: コーシャ認証との対比で(特集 ハラル: イスラム 16 億人市場を視野に)	ジェットロセンサー 64(767)	15	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2014	ハラル Q&A(特集 ハラル: イスラム 16 億人市場を視野に)	ジェットロセンサー 64(767)	13	食品	市場・制度	-	CINII Article
籠瀬明佳	2014	ハラル認証取得ガイド(特集 ハラル: イスラム 16 億人市場を視野に)	ジェットロセンサー 64(767)	10-12	食品	市場・制度	-	CINII Article
籠瀬明佳	2014	消費者としてのムスリムが求めるもの(特集 ハラル: イスラム 16 億人市場を視野に)	ジェットロセンサー 64(767)	7-9	食品	市場・制度	-	CINII Article
坂上公成	2014	日本初! ハラル認証米の生産・販売支援 地域の小さなビジネスを育て「儲かる農業」に	金融財政事情 65(37)	30-32	食品	企業	事業紹介	CINII Article
田中章雄	2014	インタビュー ハラル食品市場の動向と地域産業振興(特集 食品関連産業)	産業立地 = Industrial location 53(5)	30-33	食品	市場・制度	-	CINII Article
赤嶺友紀	2014	アジア便り シンガポール(vol.75)HALAL(ハラル)について(最終回)	りゅうぎん調査 (539)	17-19	食品	市場・制度	-	CINII Article
小牧幸代	2014	海外 拓け! 水産物のハラル市場(第 5 回)南アジアの魚食文化と「魚食」判断の 2 つの基準	養殖ビジネス = Aqua culture business 51(10)	62-65	食品	市場・制度	-	CINII Article
中川圭吾	2014	ハラル市場でのビジネスチャンスを探る(第 9 回)国産ハラル食品の紹介とケーススタディ	食品と開発 49(9)	73-75	食品	企業	事業紹介	CINII Article
佐久間朋宏	2014	ハラル認証でイスラム圏に打って出る 巨大市場独自の戒律: その現状と展望: 非営利一般社団法人ハラル・ジャパン協会 代表理事 佐久間朋宏氏に聞く(特集 輸出ビジネスの現状と課題)	鶏卵肉情報 44(15)	58-60	食品	市場・制度	-	CINII Article
森下翠恵	2014	注目のハラル産業: 諸外国の動向	国際金融 (1263)	52-56	食品	市場・制度	-	CINII Article
砂井紫里	2014	海外 拓け! 水産物のハラル市場(第 4 回)中国・台湾の魚食事情とハラル基準における養魚飼料の判断	養殖ビジネス = Aqua culture business 51(9)	58-61	食品	市場・制度	-	CINII Article
中川圭吾	2014	ハラル市場でのビジネスチャンスを探る(第 8 回)ハラル認証制度の最新動向、そして制度との付き合い方	食品と開発 49(8)	81-83	食品	市場・制度	-	CINII Article
ハラルマーケット・チャレンジ・プロジェクト	2014	アジアを拓く 200 兆円のハラルマーケット入門(最終回)現地展示会が示唆するムスリム攻略のマーケティング	激流 39(8)	144-147	食品	企業	事業紹介	CINII Article
-	2014	ハラル市場を取り込め	KER 経済情報 (292)	2-6	食品	市場・制度	-	CINII Article
赤嶺友紀	2014	アジア便り シンガポール(vol.73)HALAL(ハラル)について(第 2 回)	りゅうぎん調査 (537)	15-18	食品	市場・制度	-	CINII Article
森隆行	2014	アジアの物流と発展(第 6 回)マレーシア: グローバル・ハラール	JCA ジャーナル	52-55	食品	市場・	-	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
		ル・ハブ構想で経済活性化を狙う(下)	61(7)			制度		
富沢寿勇	2014	海外 拓け! 水産物のハラール市場(第3回)インドネシアの魚食文化と市場開拓	養殖ビジネス = Aqua culture business 51(8)	59-61	食品	市場・制度	-	CINII Article
大竹啓裕	2014	ハラール市場でのビジネスチャンスを探る(第7回)ハラールマーケティングインバウンド編(訪日ムスリム&在日ムスリム対策)	食品と開発 49(7)	80-82	食品	企業	事業紹介	CINII Article
ハラールマーケット・チャレンジ・プロジェクト	2014	アジアを拓く 200兆円のハラールマーケット入門(第3回)ハラール認証取得で生きるモノ作りの精神と品質管理技術	激流 39(7)	118-121	食品	市場・制度	-	CINII Article
神田稔生	2014	イスラム圏からの観光客誘致を強化 ハラール認証機関と協定締結 : 熊本市	地方行政 (10482)	16	観光	その他	-	CINII Article
畑中美樹	2014	中東情勢分析 改めて注目されそうなハラール認証の対象範囲	中東協力センターニュース 39(2)	24-29	食品	その他	-	CINII Article
北林貞男	2014	取引先のハラール認証米の販売に向けた新規融資の取組み(特集 コンサルティング機能を発揮するためのヒント)	しんくみ 61(6)	23-26	食品	企業	事業紹介	CINII Article
森隆行	2014	アジアの物流と発展(第5回)マレーシア : グローバル・ハラール・ハブ構想で経済活性化を狙う(上)	JCA ジャーナル 61(6)	37-43	食品	市場・制度	-	CINII Article
中川圭吾	2014	ハラール市場でのビジネスチャンスを探る(第6回)成功のカギはイスラムと消費者の理解に!	食品と開発 49(6)	81-83	食品	市場・制度	-	CINII Article
福島康博	2014	拓け! 水産物のハラール市場(第2回)マレーシアの魚食文化とハラール認証	養殖ビジネス = Aqua culture business 51(7)	62-65	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2014	焼き海苔で国内初のハラール認証取得 永井海苔が記者会見と試食会開く(求められる“国際標準”の衛生・品質管理 : 2020年東京五輪を見据えて)	HACCP : Hazard analysis and critical control point 20(6)	44-47	食品	企業	事業紹介	CINII Article
阿良田麻里子	2014	ハラール認証とムスリム消費者の食選択行動 : インドネシアを中心に(特集 食品産業のアジア展開に向けて)	明日の食品産業 = Food industry for tomorrow 2014(6)	13-18	食品	消費者	-	CINII Article
ハラールマーケット・チャレンジ・プロジェクト	2014	アジアを拓く 200兆円のハラールマーケット入門(第2回)なぜ認証取得か 目的の明確化がビジネスの入り口	激流 39(6)	124-127	全般	市場・制度	-	CINII Article
-	2014	ビジネスレポート「ハラール」認証で世界の指導国をめざすブルネイ	Asia market review 26(8)	20-23	全般	市場・制度	-	CINII Article
安田慎	2014	日本におけるムスリム観光客 : 観光におけるハラール認証制度の受容をめぐる現状と課題(特集 中東経済の新潮流)	中東研究 2014年度(1)	49-55	観光	市場・制度	-	CINII Article
赤嶺友紀	2014	アジア便り シンガポール(vol.71)HALAL(ハラール)について	りゅうぎん調査 (535)	14-16	食品	市場・制度	-	CINII Article
加藤博	2014	海外 拓け! 水産物のハラール市場(第1回)イスラム世界の魚食事情とハラール認証	養殖ビジネス = Aqua culture business 51(6)	53-57	食品	市場・制度	-	CINII Article
足立左千子	2014	ザ・ユーザー 共同船舶(株) 世界初のハラール認証クジラ肉が登場 約10万人在日ムスリム向けに販売	コンバーテック 42(5)	28-30	食品	企業	事業紹介	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
本山三知代	2014	ハラール食肉に関する最近の論点と輸出における課題：可能性を秘めている Made in Japan のハラール牛肉（特集 牛肉輸出のオールジャパンでの取り組み：輸出の期待と課題を考える）	畜産コンサルタント 50(5)	58-63	食品	市場・制度	-	CINII Article
鈴木健司,中田正則	2014	特集 2030 年までに 22 億人に増加「ハラール認証」でムスリム市場に挑む	Fole (140)	4-13	食品	企業	事業紹介	CINII Article
佐久間朋宏	2014	ハラール市場でのビジネスチャンスを探る(第 5 回)日本のハラールビジネスとハラール認証の現状	食品と開発 49(5)	81-83	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2014	食品のハラール制度の解説：実務の視点から(4)日本企業と採るべき対応	食品と科学 56(5)	14-20	食品	市場・制度	-	CINII Article
ハラールマーケット・チャレンジ・プロジェクト	2014	アジアを拓く 200 兆円のハラールマーケット入門(第 1 回)偏見と無理解が巨大市場を取り逃がす	激流 39(5)	108-112	全般	市場・制度	-	CINII Article
伊藤健	2014	Viewpoint this month(第 26 回)注目を集める認証制度 ハラール認証には今こそ正しい理解が求められる	アイソス 19(5)	1-3	食品	市場・制度	-	CINII Article
大竹啓裕	2014	ハラール市場でのビジネスチャンスを探る(第 4 回)HALAL は日本の未来を拓く	食品と開発 49(4)	77-79	食品	市場・制度	-	CINII Article
森隆行	2014	世界人口の 4 分の 1 を占める市場に注目!「ハラール(HALAL)」対応で広がるビジネスチャンス	ニュートップ L : top による leader のための reader 誌 6(4)	54-57	食品	市場・制度	-	CINII Article
町田頼弘	2014	伸びる企業の安全確保・品質管理(45)「安全・安心の食品」「アレルギーの心配がない食品」を提供したい：「ハラール食」の専用加工施設を竣工、FSSC22000 認証取得も進行中 佐藤長八商事(山形屋)幕張事業所 サラム フーズ プロセッシング(千葉県)	HACCP : Hazard analysis and critical control point 20(4)	65-72	食品	企業	事業紹介	CINII Article
並河良一	2014	食品のハラール制度の解説：実務の視点から(3)ハラール制度に対する誤解、市場開発の難しさ	食品と科学 56(4)	14-20	食品	市場・制度	-	CINII Article
田中富子	2014	アンダルシアの風：スペインの裏と表の食事情(第 46 回)スペインにおけるイスラム教徒とハラール産業の増加	食品工業 57(5)	72-75	食品	市場・制度	-	CINII Article
阿良田麻里子	2014	インドネシアにおける食のハラールの現状（特集 ハラール食品とビジネスの拡大）	食品工業 57(5)	30-37	食品	消費者	-	CINII Article
(株)ファーストグローバル・ビジネス・プロモーション部	2014	ジャパン・ハラール・フードプロジェクトについて（特集 ハラール食品とビジネスの拡大）	食品工業 57(5)	26-29	食品	市場・制度	-	CINII Article
佐久間朋宏	2014	19 億人のハラールマーケティング戦略について：(一社)ハラール・ジャパン協会 佐久間朋宏代表理事に聞く（特集 ハラール食品とビジネスの拡大）	食品工業 57(5)	20-25	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2014	山口フィナンシャルグループ アジアニュース 香港駐在員事務所 ハラール産業について	ワイエムビジネスレポート：経営&情報システム (67)	21-23	食品	市場・制度	-	CINII Article
佐久間朋宏	2014	ハラール市場でのビジネスチャンスを探る(第 3 回)ハラールマーケティングのポイント	食品と開発 49(3)	93-96	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2014	食品のハラール制度の解説：実務の視点から(2)ハラール制度の難	食品と科学 56(3)	14-20	食品	市場・	-	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
		しい点				制度		
杉山維彦	2014	食の安全とハラールのあり方についての考察：ASEAN 諸国からのインバウンドを迎えるために	日本国際観光学会論文集 (21)	129-136	食品	その他	-	CINII Article
-	2014	旅客ターミナルビル内に専用施設を整備 訪日ムスリム観光客へのおもてなし Prayer Room(礼拝室)やハラールフードへの対応	Green port report (159)	2-4	観光	企業	事業紹介	CINII Article
大竹啓裕	2014	ハラール市場でのビジネスチャンスを探る(第2回)ハラール市場と日本のハラール認証の事例研究	食品と開発 49(2)	85-88	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2014	世界全体で市場規模は約 200 兆円 急成長するハラールマーケットを狙え!	財界九州 55(2)	62-64	食品	市場・制度	-	CINII Article
並河良一	2014	食品のハラール制度の解説：実務の視点から(1)ハラール制度の内容	食品と科学 56(2)	16-22	食品	市場・制度	-	CINII Article
アクターサイド	2014	ハラール市場でのビジネスチャンスを探る(第1回)日本のハラール認証と世界各国のハラール認証	食品と開発 49(1)	75-77	食品	市場・制度	-	CINII Article
森内壮夫	2014	ハラール対応とハラール認証	Hoppoken 169	45-47	観光	市場・制度	-	CINII Article
佐久間朋宏	2014	知って 2 倍得するハラール(ハラール)：ハラールって何? 初級編(上)	S&L = 季刊シール&ラベル (33)	28-32	食品	市場・制度	-	CINII Article
魚食振興会	2015	ハラール食品の現状と課題(2)新小久保「イスラム横丁」におけるハラールフード	水産週報 = The fishing & food industry weekly (1874)	22-23	食品	その他	-	CINII Article
森田武志, 島宗俊郎	2015	ムスリム観光客へのハラール食対応の現状および「観光の食」が媒介する満足や意味に関する予備的考察	名古屋経営短期大学紀要 = Journal of Nagoya Management Junior College (56)	19-34	食品	消費者	-	CINII Article
-	2015	きびだんごを「世界のお土産」に団子類で業界初のハラール認証取得：(株)廣榮堂(岡山県)	HACCP：Hazard analysis and critical control point 21(3)	92-95	食品	企業	事業紹介	CINII Article
-	2015	新たなビジネスチャンス「ハラール認証」手続きと運用体制の整えかた(後編)	企業実務 54(3)	84-86	食品	市場・制度	-	CINII Article
岡部繁直	2015	ハラール認証とその運用：化粧品原料メーカーとしての対応(特集 認証制度と運用の実際)	Fragrance journal = フレグランスジャーナル 43(2)	20-24	化粧品	市場・制度	-	CINII Article
佐久間朋宏, 中川圭吾	2015	ハラールとハラール認証制度(特集 認証制度と運用の実際)	Fragrance journal = フレグランスジャーナル 43(2)	14-19	化粧品	市場・制度	-	CINII Article
-	2015	ハラール認証取得企業一覧(特集 ハラール市場と実践)	月刊フードケミカル 31(2)	40-42	食品	その他	-	CINII Article

著者	発行年	タイトル	掲載誌/巻/号	頁	領域	対象	内容	検索エンジン
森伸生,武藤英臣	2015	特集 Interview ハラールの理解深まるよう期待(特集 ハラール市場と実践)	月刊フードケミカル 31(2)	34-39	全般	市場・制度	-	CINII Article
小川知成	2015	酵素メーカーとしてのハラール認証取得(特集 ハラール市場と実践)	月刊フードケミカル 31(2)	30-33	食品	企業	事業紹介	CINII Article
堀内智	2015	ハラール認証取得および今後の課題(特集 ハラール市場と実践)	月刊フードケミカル 31(2)	26-29	食品	企業	事業紹介	CINII Article
佐久間朋宏	2015	ハラール市場の基本と展望(特集 ハラール市場と実践)	月刊フードケミカル 31(2)	18-25	食品	市場・制度	-	CINII Article
籠瀬明佳	2015	安心・安全な製品を消費者へ ハラール/ハラール認証に関する基礎情報(後編)	茶 68(2)	16-19	食品	市場・制度	-	CINII Article
-	2015	新たなビジネスチャンス「ハラール認証」手続きと運用体制の整えかた(前編)	企業実務 54(2)	80-82	食品	市場・制度	-	CINII Article
魚食振興会	2015	ハラールの現状と課題	水産週報 = The fishing & food industry weekly (1872)	28-29	食品	市場・制度	-	CINII Article
籠瀬明佳	2015	安心・安全な製品を消費者へ ハラール/ハラール認証に関する基礎情報(前編)	茶 68(1)	18-21	食品	市場・制度	-	CINII Article
佐久間朋宏	2015	知って2倍得するハラール(ハラール): ハラール認証について(中)	S&L = 季刊シール & ラベル (34)	38-42	食品	市場・制度	-	CINII Article

企業倫理研究センター Working Paper 発行一覧

No.	発行年月日	題名 / 執筆者
1	H18年7月	■CSRと利潤動機 [永井 四郎]
2	H18年10月	■中国の企業統治と社会的責任 –会社法改正と外資企業への影響– [梶田 幸雄]
3	H21年6月	■容器・包装簡易化商品普及モデル –「容器・包装簡易化推進プロジェクト」報告– [永井 四郎]
4	H21年7月	■産業界の視点から「排出権取引制度」を構想するNon-Cap Approachの提唱 [高 巖・小野 宏哉・倍 和博]
5	H22年3月	■中国における企業内部統制 [梶田 幸雄・熊 琳・章 啓龍]
6	H22年7月	■The Environment and Real-Estate Investment:Responsible property investing [Yasuharu Takagi・Chihiro Shimizu]
7	H23年3月	■環境配慮型経営 麗澤コンファレンス –実施報告書– [永井 四郎]
8	H23年3月	■いかにISO26000を個別組織に導入するか 『麗澤大学・ISO26000管理一覧』を巡って [高 巖]
9	H24年4月	■組織公正と従業員の倫理的行動に関する実証研究 [横田 理宇・中野 千秋]
10	H24年10月	■The Investment Value of Green Buildings –The Sustainability of Property Value– [Chihiro Shimizu]
11	H26年3月	■中国における商業賄賂とその企業活動への影響 [梶田 幸雄・田 漢哲・江 利紅・江原 規由]
12	H26年7月	■組織の倫理風土の定量的測定に関する研究 [中野 千秋・山田 敏之・福永 晶彦]
13	H27年2月	■中国の食品安全法と食品安全行政過程の現状と課題 [梶田 幸雄・江 利紅]

[問い合わせ先]

〒277-8686 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

麗澤大学企業倫理研究センター

Tel:04-7173-3761 / Fax:04-7173-3767

<http://r-bec.reitaku-u.ac.jp/>

掲載されている論文、写真、イラスト等の著作権は、麗澤大学企業倫理研究センター及び執筆者にあります。これらの情報は著作権法上認められた場合を除き、無断で転載、複製、翻訳、販売、貸与などの利用をすることはできません。